

予算科目	04衛生費	02清掃費	03し尿処理費	05久美浜衛生センター管理運営事業																									
細事業名	01 久美浜衛生センター管理運営事業				決算書 P.108																								
総合計画	計画項目	7 ごみの削減と再資源化の推進																											
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																									
70,354千円	70,677千円	323千円	99.5 %	74,170千円																									
目的	衛生センター施設を管理運営することで、久美浜町域のし尿及び浄化槽汚泥（網野町域浄化槽汚泥の一部を含む）を適正に処理する。																												
主要な事務・事業の概要	○施設管理 67,183千円																												
	・施設運転管理経費（薬品、電気代、修繕料等） 6,987千円																												
	・施設運転管理委託料（施設管理、受付事務） 9,940千円																												
	・貯留槽清掃委託料 1,669千円																												
	・火災保険料 15千円																												
	・下水道使用料 47,711千円 （前処理後、久美浜浄化センターで処理）																												
	・その他施設管理経費 861千円 （消防設備等保守点検委託料、自家用工作物保安管理業務委託料等）																												
	○工事 3,171千円																												
	・施設設備改修工事費 （破碎機、生し尿投入ポンプ、希釈水槽バルブ交換、送水ポンプ交換）																												
	〔し尿及び浄化槽汚泥受入実績〕																												
	<table><tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="2">し 尿</th><th colspan="2">浄化槽汚泥</th></tr><tr><th>受入件数</th><th>受入量</th><th>受入件数</th><th>受入量</th></tr><tr><td>久美浜町</td><td>4,519件</td><td>3,473kl</td><td>771件</td><td>3,478kl</td></tr><tr><td>網野町</td><td>—</td><td>—</td><td>72件</td><td>506kl</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4,519件</td><td>3,473kl</td><td>843件</td><td>3,984kl</td></tr></table>				区分	し 尿		浄化槽汚泥		受入件数	受入量	受入件数	受入量	久美浜町	4,519件	3,473kl	771件	3,478kl	網野町	—	—	72件	506kl	合 計	4,519件	3,473kl	843件	3,984kl	
区分	し 尿		浄化槽汚泥																										
	受入件数	受入量	受入件数	受入量																									
久美浜町	4,519件	3,473kl	771件	3,478kl																									
網野町	—	—	72件	506kl																									
合 計	4,519件	3,473kl	843件	3,984kl																									
主な財源	手数料	し尿処理手数料	37,925千円																										
	手数料	浄化槽汚泥処理手数料	3,336千円																										
成果・課題	○し尿及び浄化槽汚泥処理業務を停滞させることなく管理運営することができた。 ○平成元年4月に稼働した施設であることから老朽化が進行しているため、施設の長寿命化計画を見直すとともに、適切な修繕対応により、施設を維持していく必要がある。																												
所管課	市民環境部／生活環境課																												

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	01シルバー人材センター運営助成事業	
細事業名	01 シルバ-人材センター運営助成事業				決算書 P.108
総合計画	計画項目	20 暮らしに生きがいのある健康長寿のまちづくり			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額	
23,100千円	23,100千円	0千円	100.0 %	23,100千円	
目的	高齢者が長年にわたり培ってきた知識や技能を活かした就業機会の提供とボランティア活動などの社会参加を通じ、健康で生きがいのある生活と福祉の向上を目指す。				
主要な事務・事業の概要	定年退職者等に地域に密着した仕事を提供し、もって高齢者の生きがいの充実や社会参加の促進を図るシルバー人材センター事業を助成した。				
	○シルバー人材センター運営費補助金				21,000千円
	【事業概要】 労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等				
			平成29年度末	平成28年度末	
	正会員数	833人	815人		
就業延べ人員	79,523人	82,919人			
受注件数	5,620件	5,794件			
契約金額	331,335千円	336,759千円			
主な財源	○地域就業機会創出・拡大事業補助金				2,000千円
	生き活き満丹事業：平成28年度～平成30年度				
			延べ就業人員	来客数	
	軽食喫茶「がや我家」	713人	3,128人		
	アンテナショップ	3,476人	6,453人		
成果・課題	○全国シルバー人材センター協会賛助会員会費				50千円
	○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費				50千円
所管課	健康長寿福祉部／長寿福祉課				

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	02就労支援事業
細事業名	01 人材確保・就職促進対策事業			決算書 P.108
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興		
決算額①	最終予算額②	不用額(②-①)	執行率	(参考)当初予算額
6,781千円	7,148千円	367千円	94.8%	7,159千円
目的	国、府等の関係機関と連携し就職面接会を開催するほか、企業等の情報を発信し、人材確保支援等の取組を行うことで企業等の人材確保と求職者の就労を支援する。			
主要な事務・事業の概要	1. 人材確保対策事業 ○「ものづくり産業企画展」の開催 264千円 開催日：平成29年8月19日(土)、20日(日) 場所：ヨビノリセンターマイ 内容：機械金属業、織物業の展示、小・中・高生を対象にものづくり体験を実施 参加者：延べ209人(缶バッチ作り112人、繭くわ66人、蜘蛛昆虫31人) (消耗品費49千円、会場設営委託料108千円、印刷製本費97千円、手数料[展示用きもの着付]10千円) ○「ふるさと就職フェアin丹後」の開催 591千円 開催日：平成29年10月21日(土) 場所：アグリセンター大宮 内容：合同企業面接会 参加事業所：30社 参加者：45人(一般39人、学生6人) うち内定者6人 (印刷製本費172千円、会場設営委託料125千円、広告料162千円、新聞折込手数料129千円、消耗品費3千円) ○「京丹後市合同企業説明会・保護者向け勉強会」の開催 1,401千円 開催日：平成30年3月24日(土) 場所：アグリセンター大宮 内容：合同企業説明会・保護者向け勉強会 参加事業所：31社 参加者：合同企業説明会71人(一般40人、学生31人) 保護者向け勉強会7人 (印刷製本費194千円・会場設営委託料173千円・広告料162千円・新聞折込手数料123千円、就職応援サイトへの掲載等情報発信委託料706千円、市マイクロバス運行[運転委託料、有料道路通行料、燃料費]43千円) ○人材確保推進事業補助金 561千円 ・合同企業説明会への参加、個別の企業説明会の開催、大学生等のインターンシップ受け入れを実施した企業等に経費(総事業費1,816千円)の一部を補助 ・交付件数：8件 ○平成30年度版「京丹後市企業ガイドブック」の作成 603千円 ・掲載企業53社(平成29年度版47社) 3,000部作成 (京阪神を中心に大学等や地元関係団体等に配布、配架) ○職員旅費(7市町合同企業説明会：京都市 ほか) 25千円 ○有料道路通行料(7市町合同企業説明会：京都市 ほか) 9千円 ○消耗品費(はさみ、養生テープ等事業用消耗品) 68千円			

予算科目	05労働費	01労働諸費	01労働諸費	02就労支援事業																												
細事業名	01 人材確保・就職促進対策事業			決算書 P.108																												
総合計画	計画項目	1 地域経済を担う商工業の振興																														
主要な事務・事業の概要	2. 就職促進対策事業																															
	○産業人材育成ポータルサイト管理運営委託			65千円																												
	委託先：職業訓練法人丹後地域職業訓練協会																															
	○職業能力向上支援補助金			384千円																												
	・交付件数：67件 交付者数：40人																															
	・補助率 求職者：研修費用の3分の2以内（上限額：年間2万円/人）																															
	労働者：研修費用の2分の1以内（上限額：年間2万円/人）																															
	補助金交付実績																															
	<table><tr><td>区 分</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>交付件数(件)</td><td>70</td><td>63</td><td>118</td><td>64</td><td>49</td><td>67</td></tr><tr><td>交付額(千円)</td><td>504</td><td>434</td><td>653</td><td>532</td><td>299</td><td>384</td></tr><tr><td>交付者数(人)</td><td>47</td><td>50</td><td>70</td><td>49</td><td>31</td><td>40</td></tr></table>			区 分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	交付件数(件)	70	63	118	64	49	67	交付額(千円)	504	434	653	532	299	384	交付者数(人)	47	50	70	49	31	40	
	区 分	H24	H25	H26	H27	H28	H29																									
交付件数(件)	70	63	118	64	49	67																										
交付額(千円)	504	434	653	532	299	384																										
交付者数(人)	47	50	70	49	31	40																										
○丹後地域職業訓練協会運営費補助金			2,072千円																													
・職業訓練講座：10講座25コース実施（H28：12講座19コース）																																
・受講者：延べ325人（市内183人）（H28：延べ276人（市内164人））																																
○職業訓練校事業費補助金（実施主体：京丹後市商工会）			738千円																													
・和裁科：網野校11人（H28：10人）																																
・染色科（基礎Ⅰ）：峰山校7人、網野校6人（H28：峰山校5人、網野校5人）																																
・染色科（基礎Ⅱ）：峰山校7人、網野校6人（H28：峰山校5人、網野校5人）																																
・着付科：峰山校10人、網野校10人（H28：峰山校0人、網野校9人）																																
＜卒業生・受講生による作品展示＞																																
・京都ものづくりフェア2017（H29年11月11日～12日 京都パルスプラザ）																																
主な財源	国補	地方創生推進交付金（1/2）	620千円																													
	府補	未来づくり交付金（就職促進対策事業）	1,000千円																													
	諸収入	企業が広報掲載料	265千円																													
成果・課題	○次代を担う世代に地場産業に触れる機会を提供した。 ○市内外の求職者に対し市内企業情報を発信し、市内企業への就職を促進した。 ○企業の採用活動経費へ支援することで企業等の人材確保を、また、職業訓練の開催を支援することで求職者等のスキルアップを図った。 ○これら事業を本市から継承する京丹後市地域雇用促進協議会が引き続き事業を実施し、市内企業の人材確保等につなげていく必要がある。																															
所管課	商工観光部／商工振興課																															

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	02農業委員会活動事業	
細事業名	01 農業委員会活動事業			決算書 P.108	
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
13,814千円	13,971千円	157千円	98.8%	14,921千円	
目的	農地法等に基づき許認可の審査・諸証明を行うとともに、農地利用を促進させ農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与する。				
主要な 事務・事業の概要	農地法等に基づく許認可の審査を行うとともに、全農地利用状況調査、農地の利用における意向調査を行った。				
	○農業委員数19人 農地利用最適化推進委員36人				
	○主な活動				
	・定例会等		※農地法等に基づく許認可申請等の状況		
	活動内容	回数	備考	申請等の種類	件数
	定例会	12	毎月	3条申請	48
	運営委員会	7	随時	4条申請	19
	広報委員会	9	随時	(農地法の許可を要しない転用の届出含)	
	農地パトロール	1	8月実施	5条申請	54
	全農地利用状況調査	随時	8月重点実施	事業計画変更	3
研修会	4	視察研修ほか	形状変更届	29	
視察受入	9	三重県 松坂市ほか	非農地証明	47	
			非農地判断	13,256筆、214.2ha	
			3条の3第1項の規定による届出	289	
・市長へ意見書の提出 農業委員会等に関する法律に基づく、農地等の利用の最適化の推進に関する施策についての意見書					
○経費の内訳 13,814千円					
・農業委員報酬（会長311千円、職務代理267千円、委員243千円） 4,709千円					
・農地利用最適化推進委員報酬（195千円） ※各委員報酬は年額 7,020千円					
・「農業委員会だより」発行経費（年3回、8月・12月・3月全戸配布） 392千円					
・視察研修経費（広島県東広島市、岡山県高梁市〔1泊2日〕） 301千円					
・京都府農業会議拠出金 674千円					
・その他農業委員会活動経費（共済費、消耗品費ほか） 718千円					
主な財源	府負	農地利用最適化交付金	3,960千円		
成果・課題	○農地法等に基づいた各種申請について、現地確認や調査を行ない適正な許可業務ができた。 ○農地法に基づき農地利用の確認のため全農地利用状況調査を行った結果、復元可能な農地について地主意向調査を行ない、地主の農地に関する管理意識の向上が図られた。 ○担い手への農地集積や耕作放棄地の解消等について、少しずつではあるが進みつつある。				
所管課	農業委員会事務局				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	03農業者年金事務	
細 事 業 名	01 農業者年金事務			決算書 P.110	
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
758千円	759千円	1千円	99.8 %	759千円	
目的	農業者年金加入推進及び農業者年金加入者・受給者の資格管理等の事務を行い、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。				
主要な事業・事業の概要	農業者年金加入推進及び加入者、受給者の資格管理等の事務を行った。				
	○農業者年金の裁定請求、加入推進、受給者の資格管理等に関する事務費 758千円				
	・職員旅費 10千円				
	・消耗品費（事務用品） 376千円				
	・燃料費（公用車ガソリン代） 135千円				
	・印刷製本費（農業委員会だより） 69千円				
	・修繕料（公用車の修繕料） 8千円				
	・通信運搬費（電話代、郵送料） 160千円				
	○加入者・受給者の状況（平成30年3月末）				
	①加入者の状況				
通常加入者数 47人					
政策支援加入者数 7人					
合 計 54人					
②受給者の状況					
経営移譲、特例老齢、老齢年金受給者数 379人					
○年金資格及び保険料、給付関係書類の処理状況（平成29年4月～平成30年3月）					
種類	通常加入申込書	5件	種類	死亡届	28件
	政策支援加入申込書	0件		現況届	357件
	経営移譲年金裁定請求書	0件		その他届	0件
	老齢年金裁定請求書	4件			
主な財源	諸収入 農業者年金事務委託金			758千円	
成果・課題	○農業者年金加入者及び受給者の資格管理を行い、農業者年金制度が適正に運用できた。 ○農業者への上乘せ年金制度であり、農業者の老後生活のために引続き加入を推進していく必要がある。				
所 管 課		農業委員会事務局			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	07機構集積支援事業
細 事 業 名	01 機構集積支援事業			決算書 P.110
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
5,166千円	5,216千円	50千円	99.0 %	4,975千円
目的	農地法に基づく農地制度を円滑に実施するため、遊休農地利活用推進員等を設置し、遊休農地の利用状況調査、農地の利用調整等を行い、農地の保全を図る。			
主要な事務・事業の概要	遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、遊休農地の利用状況調査及び農地利活用調整活動を実施した。			
	○遊休農地の利用状況調査等に係る経費 5,166千円			
	・臨時職員賃金（遊休農地利活用推進員1人、農地相談員1人） 2,978千円 ・臨時職員共済費（社会保険料、雇用保険料） 491千円 ・農業委員旅費 64千円 ・職員旅費 44千円 ・需用費（事務用品、コピー代、燃料費ほか） 663千円 ・役務費（公用車損害共済保険料） 14千円 ・委託料（農地台帳システム保守） 432千円 ・使用料及び賃借料（公用車リース料） 240千円 ・備品購入費（農地情報公開システム用パソコン） 240千円			
	○遊休農地の利用調整の状況（平成29年4月～平成30年3月）			
	種別	件 数	該当面積	
	調整筆数	101筆	13.45ha	
	地主面談	4件		
	農家面談	9件		
	交渉中	39筆	1.15ha	
交渉成立	38筆	1.40ha		
	※地主及び農家と面談の結果、ともに合意した場合のみ交渉成立となる。			
主な財源	府補 機構集積支援事業費補助金（10/10）			3,293千円
成果・課題	○農業者の高齢化や農産物価格の長期低迷、獣害の増加等により耕作放棄地が増加する中で、農地法に基づいて、農地の利用状況調査や利用意向調査を実施し、農地の保全を図った。 ○今後も農業従事者の減少・高齢化が進むことが予測される中で、引き続き農地の利用状況調査や利用調整活動に取り組み、遊休農地の解消に努めていく必要がある。			
所 管 課	農業委員会事務局			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	50農業委員会一般経費	
細 事 業 名	01 農業委員会一般経費				決算書 P.110
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
224千円	283千円	59千円	79.1 %	283千円	
目 的	農業委員会業務を円滑に遂行する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業委員会事務局の事務等に要する経費を支出した。				
	○経費の内訳 ・需用費（公用車のガソリン代、修理代） ・役務費（公用車の保険料、登録手数料等） ・公課費（公用車重量税）				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	農業委員会事務局事務を適切に実施するとともに、公用車の適切かつ効率的な維持管理ができた。				
所 管 課	農業委員会事務局				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	50農業総務一般経費	
細 事 業 名	01 農業総務一般経費				決算書 P.110
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
3,208千円	3,625千円	417千円	88.4 %	6,543千円	
目 的	農業行政を推進するための業務に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出し、農業振興を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業行政を推進するために必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出した。 ○政策企画委員報酬(1人) 100千円 ○旅費 244千円 ○需用費 362千円 ・事務消耗品、公用車燃料代、公用車修繕料 ○役務費 66千円 ・ETC発行手数料、公用車保険料 ○委託料 2,143千円 ・農業総合地図情報システム保守管理委託料 1,825千円 ・情報通信機器等保守委託料 318千円 ○使用料及び賃借料 108千円 ・有料道路通行料、駐車場使用料 ○負担金、補助及び交付金 185千円 ・全国中山間地域振興対策協議会負担金 10千円 ・野菜等経営安定対策事業負担金 39千円 ・丹後米改良協会負担金 51千円 ・京のふるさと産品価格流通安定協会負担金 81千円 ・各種研修参加負担金 4千円				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	各種団体と連携し、農業行政の推進が図れた。				
所 管 課	農林水産部／農業振興課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	01農業振興地域整備計画策定事業	
細 事 業 名	01 農業振興地域整備計画策定事業				決算書 P.110
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
2,466千円	2,467千円	1千円	99.9 %	2,715千円	
目的	農業振興地域の整備に関する法律に基づき、本市農業振興地域整備計画について、京都府の基本方針変更等も踏まえ、変更の必要性を確認するため基礎調査を実施する。				
主要な事務・事業の概要	京丹後農業振興地域整備計画基礎調査を実施し、農林水産省令の定めるところにより、農用地等の面積、土地利用、農業就業人口の規模、人口規模、農業生産等に関する現況について調査を行った。 ○京丹後農業振興地域整備計画基礎調査業務委託料 2,052千円 ・基礎資料 （地域の概況 土地利用の動向等 農業生産基盤の現状 農業近代化施設整備の状況 等） ・基礎資料付図（土地利用状況図、農業生産基盤状況図等） ・意向調査（アンケート）結果集計・分析とりまとめ資料 ○事務補助業務労働者派遣委託料（1人、2か月） 414千円 ＜意向調査（アンケート）の概要＞ ・実施時期：平成29年8月4日～8月31日 ・対象者：市内農地所有者 2,000人 ・回収数：802人 ・回収率：40.1% ・調査内容：農業経営の現状と課題の把握 経営規模拡大（縮小）等希望の把握 農業以外の産業への就業状況の把握 等				
主な財源					
成果・課題	農業振興地域制度に関するガイドライン等を参考に、意向調査（アンケート）を実施し、基礎資料を作成した。				
所 管 課	農林水産部／農業振興課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03京野菜生産加速化事業
細 事 業 名	01 パイプハウス等整備事業			決算書 P.110
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
35,388千円	35,388千円	0千円	100.0 %	0千円
目的	パイプハウス等施設の整備を支援し、農産物のブランド化・生産性の向上等、京野菜の産地づくりを図る。			
主要な事務・事業の概要	丹後地域統一重点推進品目（丹後地域特産物育成協議会が産地力を強化するため、地域で重点的に推進する品目と対象産地を選定しているもの）に位置付けられている九条ねぎ、メロン、トマトの生産振興を図るため、パイプハウスを整備する農業団体に補助金を交付し、産地の強化に取り組んだ。			
	○パイプハウス等整備事業費補助金 35,388千円			
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助区分 補助率 補助金額 備考
	京都農業協同組合	パイプハウス9棟(九条ねぎ)	8,624千円	① 55% 4,743千円 峰山 弥栄 久美浜
	網野町ハウス園芸部会	パイプハウス11棟(メロン)	21,079千円	① 55% 11,592千円 網野
	久美浜町施設園芸組合	ロウカールハウス4棟(トマト)	29,891千円	② 50% 14,944千円 久美浜
	久美浜町砂丘特産研究会	パイプハウス6棟(トマト)	8,219千円	② 50% 4,109千円 久美浜
	合 計	30棟	67,813千円	35,388千円
	＜パイプハウス整備補助区分＞			
	①京都ブランド産地形成型（補助率 府：50%、市：5%） 多様な流通に対応した広域的な園芸産地づくりの推進に必要な整備			
②担い手規模拡大型（補助率 府：45%、市：5%） 産地の核となる担い手を中心とした園芸産地づくりの推進に必要な整備				
主な財源	府補 ほんまもん京ブランド産地支援事業費補助金（50%、45%）			32,000千円
成果・課題	○丹後地域統一重点推進品目（九条ねぎ・メロン・トマト）の推進と市内農業団体の負担軽減を図り、経営と所得の安定に寄与した。 ○丹後地域統一重点推進品目の推進には、品質だけでなく量の確保・安定供給が必要であり、今後も引き続き京都農業協同組合等の協力を得ながら指導、支援を行う必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03京野菜生産加速化事業
細 事 業 名	02 生産・流通改善条件整備事業			決算書 P.110
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
5,077千円	5,129千円	52千円	98.9 %	0千円
目的	農業法人等が生産した農作物の集出荷貯蔵施設・設備整備等を支援することにより、産地の形成と拡大を図る。			
主要な事務・事業の概要	「京のブランド産品」に認証された品目の生産拡大を図るため、農業法人等が行う栽培の効率化に向けた機械導入に対して、補助金を交付した。			
	○生産・流通改善条件整備補助金			5,077千円
	交付先	導入機械	事業費	府補助 市補助 補助金額
	学卒	野菜移植機	1,058千円	45% 5% 528千円
	丹後共同機会	野菜移植機	620千円	45% 5% 310千円
	京丹後九条ねぎ生産組合	乗用移植機	1,670千円	45% 5% 834千円
	九条ねぎはしうど会	ねぎ洗浄機 ねぎ袋詰め機	1,380千円	45% 5% 690千円
	(株)みらい久美浜	ねぎ皮むき洗浄機	5,495千円	45% - 2,472千円
	井辺人参生産組合	播種機	540千円	45% - 243千円
	合 計		10,763千円	
主な財源	府補 ほんまもん京ブランド産地支援事業費補助金（45%）			4,842千円
成果・課題	丹後地域統一重点推進品目（ニンジン、キャベツ、九条ねぎ）の品質向上・生産安定・出荷安定を図るため、機械・資材・設備の導入を支援し、ブランド力の向上や所得確保の一助となった。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	03京野菜生産加速化事業
細 事 業 名	03 6次産業向け体制整備事業			決算書 P.110
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
1,178千円	1,178千円	0千円	100.0 %	1,463千円
目的	儲かる革新的なビジネスモデルの創出を図るため、食品産業等の取引先の拡大に向けた生産現場での一次処理・加工や、効率的な物流体制の構築に必要な整備を支援する。			
主要な事務・事業の概要	○6次産業向け体制整備事業費補助金 1,178千円 ・事業主体：京丹後九条ねぎ生産組合 ・事業内容：保冷库2台、長ねぎ用皮むき機1台、出荷用コンテナ300個 ・総事業費：2,358千円 ・補助金額：1,178千円 ・補助率：50%（府：45%、市5%）			
主な財源	府補 ほんまもん京丹後産地支援事業費補助金（45%）			1,061千円
成果・課題	○京丹後産の九条ねぎの物流体制や加工に対応した機械を導入することにより、実需ニーズに対応することが可能となった。 ○地域の中で農業ビジネスモデルの普及につながるよう、引き続き生産現場における基盤整備を重点的に支援していく必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業																								
細 事 業 名	01 コウノトリと共生するさとづくり事業			決算書 P.110																								
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																										
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額																								
991千円	1,000千円	9千円	99.1 %	1,000千円																								
目的	環境や生物多様性に配慮した取組を支援し、水田等に集う多様な動植物と共生する営農環境の整備を行うとともに、無農薬栽培等安心・安全な農産物生産を推進する。																											
主要な事務・事業の概要	地域の生物多様性を推進するための水田ビオトープの設置管理や、市内で生産された有機肥料、たい肥又は液肥を利用して農産物を生産する農業者や組織等に対し、取組に係る経費の一部を助成した。																											
	○コウノトリと共生するさとづくり事業補助金			991千円																								
	・水田ビオトープの推進			468千円																								
	<table><tr><td></td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td>件 数</td><td>2件</td><td>1件</td><td>3件</td><td>6件</td></tr><tr><td>取組面積</td><td>157 a</td><td>95 a</td><td>178 a</td><td>430 a</td></tr><tr><td>補助金額</td><td>155千円</td><td>76千円</td><td>237千円</td><td>468千円</td></tr></table>					峰山町	大宮町	久美浜町	合 計	件 数	2件	1件	3件	6件	取組面積	157 a	95 a	178 a	430 a	補助金額	155千円	76千円	237千円	468千円				
		峰山町	大宮町	久美浜町	合 計																							
件 数	2件	1件	3件	6件																								
取組面積	157 a	95 a	178 a	430 a																								
補助金額	155千円	76千円	237千円	468千円																								
・地域資源循環型農業の推進				523千円																								
	<table><tr><td></td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td>件 数</td><td>3件</td><td>2件</td><td>4件</td><td>4件</td><td>4件</td><td>4件</td><td>21件</td></tr><tr><td>補助金額</td><td>152千円</td><td>38千円</td><td>90千円</td><td>54千円</td><td>58千円</td><td>131千円</td><td>523千円</td></tr></table>					峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	件 数	3件	2件	4件	4件	4件	4件	21件	補助金額	152千円	38千円	90千円	54千円	58千円	131千円	523千円
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																					
件 数	3件	2件	4件	4件	4件	4件	21件																					
補助金額	152千円	38千円	90千円	54千円	58千円	131千円	523千円																					
主な財源																												
成果・課題	○水田の活用による農環境の保全につながり、生物多様性を育む農業を推進できた。 ○環境等に配慮した農業に取り組む農業者の負担軽減を支援することにより、安心・安全な農作物の生産と環境低負荷型農業を推進することができた。																											
所 管 課	農林水産部／農業振興課																											

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	04生物多様性を育む農業推進事業																												
細事業名	02 環境保全型農業直接支払交付金事業			決算書 P.110																												
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																												
10,420千円	10,434千円	14千円	99.8 %	10,956千円																												
目的	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動等に取り組む農業者を支援し、環境保全型農業の普及推進を図る。																															
主要な事務・事業の概要	化学肥料・化学合成農薬の使用を地域の慣行レベルから5割以上低減する活動と合わせて、地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動の取組に対し、取組内容に応じて補助金を交付した。																															
	○環境保全型農業直接支払交付金事業			10,068千円																												
	<table><tr><th>取組内容</th><th>件数</th><th>面積</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>5割低減＋カバークロープ</td><td>4件</td><td>752a</td><td>602千円</td></tr><tr><td>5割低減＋冬期湛水</td><td>13件</td><td>8,981a</td><td>5,193千円</td></tr><tr><td>5割低減＋緩行性肥料・中干し</td><td>9件</td><td>4,672a</td><td>1,594千円</td></tr><tr><td>有機農業</td><td>9件</td><td>3,491a</td><td>2,654千円</td></tr><tr><td>有機農業（そば・飼料等）</td><td>1件</td><td>83a</td><td>25千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>36件</td><td>17,979a</td><td>10,068千円</td></tr></table>				取組内容	件数	面積	補助金額	5割低減＋カバークロープ	4件	752a	602千円	5割低減＋冬期湛水	13件	8,981a	5,193千円	5割低減＋緩行性肥料・中干し	9件	4,672a	1,594千円	有機農業	9件	3,491a	2,654千円	有機農業（そば・飼料等）	1件	83a	25千円	合 計	36件	17,979a	10,068千円
	取組内容	件数	面積	補助金額																												
	5割低減＋カバークロープ	4件	752a	602千円																												
	5割低減＋冬期湛水	13件	8,981a	5,193千円																												
	5割低減＋緩行性肥料・中干し	9件	4,672a	1,594千円																												
	有機農業	9件	3,491a	2,654千円																												
	有機農業（そば・飼料等）	1件	83a	25千円																												
	合 計	36件	17,979a	10,068千円																												
○環境保全型農業直接支払交付金事業推進事務費 352千円																																
・事務補助業務人材派遣委託料（1人、平成30年1月分） 164千円																																
・その他経費（消耗品費、通信運搬費） 188千円																																
主な財源	府補	環境保全型農業直接支払交付金（3/4以内）		7,551千円																												
	府補	環境保全型農業直接支払交付金（定額）		352千円																												
成果・課題	○化学肥料・農薬を低減し、地球温暖化防止や生物多様性保全につながる農業生産活動を支援することで、取組件数の増加、農業分野における環境保全と環境意識の向上につながった。 ○平成30年度より「GAPの取組（研修参加）」が要件化されるため、その概要周知を積極的に図り、交付団体の意識の向上を図る必要がある。																															
所管課	農林水産部／農業振興課																															

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	05利子助成事業
細事業名	01 利子助成事業			決算書 P.110
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
365千円	366千円	1千円	99.7 %	341千円
目的	農業制度資金を借り入れた農業者に利子助成し、安定的な農業経営を図る。			
主要な事務・事業の概要	農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対して、利子助成金を交付した。 ○農業経営基盤強化資金利子助成金 365千円 認定農業者：6人（8件）			
主な財源	府補	農業経営基盤強化資金利子助成費補助金（1/2）	183千円	
成果・課題	申請者に対し金利負担を軽減するための利子助成金を交付し、農業経営の安定に資することができた。			
所管課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業																				
細 事 業 名	01 元気な農村地域づくり事業			決算書 P.112																				
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																						
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																				
2,017千円	2,099千円	82千円	96.0 %	2,804千円																				
目的	農業への理解を深め、展示や直販による地産地消の啓発及び地域活性化を図る。また、都市部での京丹後産農産物の販売・宣伝活動等により販路開拓・拡大を図る。																							
主要な事務・事業の概要	市内の農業イベントを通して、市内外の消費者に対し京丹後産農作物と農業・農村の活力をPRする取組を支援した。また、京丹後産農産物を販売して販路開拓と広報活動を行う農業団体等を支援するため、都市部の農業イベントへ参加した。 ○元気な農村地域づくりイベント事業補助金 1,845千円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th><th>イベント名</th><th>開催日</th><th>事業費</th><th>補助金額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>久美浜町</td><td>まるかじりまつり</td><td>台風のため中止</td><td>1,014千円</td><td>841千円</td></tr> <tr> <td>丹後町、弥栄町</td><td>弥栄・丹後秋の祭典</td><td>11/12 (日)</td><td>1,258千円</td><td>1,004千円</td></tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td><td>2,272千円</td><td>1,845千円</td></tr> </tbody> </table> ○バス借上料 146千円 丹後町袖志地区の棚田保全を目的とした田植えに参加する学生ボランティアの送迎経費 ○旅費、有料道路通行料 26千円 都市部のイベント出展や大学連携事業に係る職員参加経費 ・摂津市農業祭（職員：2人） 8千円 日時：平成29年11月11日（土）、12日（日） 場所：摂津市役所駐車場 参加：3団体 ・京都府農林水産フェスティバル（職員：2人） 4千円 日時：平成29年11月25日（土）、26日（日） 場所：京都府総合見本市会館（パルスプラザ）参加：8団体 ・大学連携事業に係る打合せ（職員：1人） 14千円 日時：平成29年11月28日（月）、12月8日（金） 場所：龍谷大学				地 域	イベント名	開催日	事業費	補助金額	久美浜町	まるかじりまつり	台風のため中止	1,014千円	841千円	丹後町、弥栄町	弥栄・丹後秋の祭典	11/12 (日)	1,258千円	1,004千円	合 計			2,272千円	1,845千円
地 域	イベント名	開催日	事業費	補助金額																				
久美浜町	まるかじりまつり	台風のため中止	1,014千円	841千円																				
丹後町、弥栄町	弥栄・丹後秋の祭典	11/12 (日)	1,258千円	1,004千円																				
合 計			2,272千円	1,845千円																				
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 1,000千円																							
成果・課題	○市内のイベントを通して、地域特有の農産物や農村地域の魅力を発信できた。また、市外イベントに参加する団体等を支援することで、京丹後市農産物のPRや販路開拓・拡大を図ることができた。 ○市外の農業イベントについては、市内産の農産物を広くPRするため今後も積極的に参加する必要があり、参加団体等を増加させるため更なる周知を図る必要がある。																							
所 管 課	農林水産部／農業振興課																							

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業
細 事 業 名	04 むらの活力向上事業			決算書 P.112
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
2,062千円	2,062千円	0千円	100.0 %	0千円
目的	過疎化・高齢化が進む農山漁村地域が抱える多様な課題を解決するため、複数集落が連携して地域ぐるみで意欲的に実践する取組を支援し、当該地域の持続的発展を図る。			
主要な事務・事業の概要	複数の集落が連携・協力して、地域の現状、課題、望む将来像及び必要な取組等をまとめた里力再生計画等の将来構想に基づき、実践する活動に対して補助金を交付した。 ○むらの活力向上事業費補助金 2,062千円 ・五十河地域里力再生協議会（地域連携組織） 242千円 実施場所：大宮町五十河地域 事業費：288千円 補助率：府2/3、市1/5 五十河地域里力再生協議会は地域の一体的な取り組みの一つとして、初めてとなる5地区合同での文化祭を開催した。また、大学生と一緒に文化祭の準備・運営をすることにより、地域への愛着・連携を図ることができた。 ・宇川連合区（地域連携組織） 1,820千円 実施場所：丹後町宇川地域 事業費：2,101千円 補助率：府2/3、市1/5 宇川連合区は、里の人づくり事業で結成した「宇川加工所」で、地元食材を用いたランチバイキングを開催するため、冷蔵庫等の購入や備品倉庫の改修などを行った。また、大学連携事業の大学生とともにサロン活動や地域イベントを開催し、地域の活性化とファンづくりに取り組んだ。			
主な財源	府補 むらの活力向上事業費補助金（2/3） 1,586千円			
成果・課題	○過疎・高齢化・後継者不足などの課題を抱える地域において、地域の連携体が今後の地域の将来像を見据えながら、地域活性化に資する取り組みができた。 ○今回の事業は単年度であるが、補助事業終了後においても地域活性化活動の継続が図れるよう助言等、継続した支援が必要である。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	09森の全国交流拠点管理運営事業			
細事業名	01 森の全国交流拠点管理運営事業				決算書	P.112	
総合計画	計画項目	24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進					
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額			
323千円	330千円	7千円	97.8%	330千円			
目的	ツリーハウスの管理運営を行い、蒲井・旭地域を「心と体と環境にやさしい交流の場所」として全国に発信する。						
主要な事務・事業の概要	ツリーハウスの適切な利用が図られるように、施設の管理運営を行った。						
	○ツリーハウス維持管理経費				323千円		
	・消耗品費				4千円		
	・修繕料（ツリーハウス階段修理）				30千円		
	・火災保険料				2千円		
	・ツリーハウス管理委託料				65千円		
	・ツリーハウス保守点検委託料				216千円		
	・土地借上料				6千円		
	(参考) ツリーハウス利用状況 (単位：人)						
	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
	利用者数	548	383	697	854	266	571
主な財源							
成果・課題	○市民だけでなく、京阪神地域の観光客など市外からの利用者もあり、心と体と環境にやさしい交流場所として、蒲井・旭地域を発信することができた。 ○ツリーハウスの利用想定期間の10年目（平成30年度）を迎え、地元の意向も踏まえ移譲等今後の在り方を検討する必要がある。						
所管課	市長公室／久美浜市民局						

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	11農業等再生緊急支援対策事業
細事業名	01 農業等再生緊急支援対策事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
2,912千円	2,912千円	0千円	100.0%	0千円
目的	台風18号で被害を受けた農作物の産地において、生産団体が行う作物再生に要するパイプハウスの再建、施肥等の費用を支援し、生産性の維持を図る。			
主要な事務・事業の概要	○農業等再生緊急支援対策補助金 2,912千円			
	(単位：千円)			
	事業実施主体	事業内容	補助区分	事業費 補助金額
	谷芳グループ	パイプハウス撤去・再建	府単独	971 482
	㈱久美浜観光園	石灰窒素購入 (稲わら等腐熟促進用)	市単独	382 119
	平田農会	肥料購入(土づくり用)	市単独	171 46
	京丹後市茶生産組合	茶追加施肥一式	府単独	4,279 1,853
	㈱いちがお畜産	発酵促進資材・粗飼料購入	市単独	2,575 412
合 計			8,378 2,912	
主な財源	府補 農作物生産確保緊急対策事業補助金			2,335千円
成果・課題	台風18号で被害を受けた農作物に必要なパイプハウスの再建、追加施肥等を行った経費の一部を助成することで、農業者の負担軽減と産地における今後の生産確保に寄与した。			
所管課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	01農業技術者協議会活動促進事業
細 事 業 名	01 農業技術者協議会活動促進事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,269千円	2,276千円	7千円	99.6 %	2,276千円
目的	農業経営基盤強化促進法に基づき、農業振興を図るために設置された京丹後市農業技術者協議会の活動を支援することにより、市内全体の農業振興を図る。			
主要な事務・事業の概要	農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の認定に係る審査機関として、農業技術者協議会において、個別具体的な経営基盤強化の推進について検討を行った。 また、認定農業者・集落営農等の担い手育成のため、農業経営改善支援センターを中心に経営相談や経営改善計画の作成指導など、経営基盤強化の促進に資する活動を行った。 ○農業技術者協議会活動経費 2,269千円 ・農業経営改善支援センター嘱託員報酬（1人、12か月） 1,404千円 ・農業経営改善支援センター嘱託員社会保険料・雇用保険料 214千円 ・農業経営改善支援センター嘱託員費用弁償 51千円 ・農業技術者協議会活動促進事業補助金 600千円 <活動実績> ・認定農業者育成数：31人（新規6人、更新25人） ・農業法人育成数：6法人（新規1法人、更新5法人） ・経営改善相談活動 - 相談活動日数：延べ100日 - 対象人数：延べ172人			
主な財源	府補	認定農業者等確保・育成支援事業費補助金（1/2以内）		300千円
成果・課題	○認定農業者・集落営農等の担い手の育成及び農用地の利用集積の推進により、市内全体の農業振興に寄与することができた。 ○更なる地域農業の振興を図るため、認定農業者・集落営農等の担い手を増加させるとともに、農業法人化を推進する必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

194

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	02中山間地域等直接支払制度事業
細 事 業 名	01 中山間地域等直接支払制度事業			決算書 P.112
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
67,052千円	67,055千円	3千円	99.9 %	66,665千円

目 的 中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて耕作放棄地の発生を防止し、農業・農地の多面的機能を確保する取組を支援する。

主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要

耕作放棄地の増加等に伴う農業・農地の多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域等において、農振農用地区域内の1ha以上の農地を対象とした5か年（平成27年度～平成31年度）の協定を基に、中山間地域等に直接交付金を支払った。

○中山間地域等直接支払制度推進事業事務経費 321千円

- ・推進事務経費 190千円
- ・確認事務経費 99千円
- ・交付事務経費 32千円

○中山間地域等直接支払制度事業補助金 66,731千円

	集落協定数	個別協定数	交 付 額
峰山町	5 (40ha)	-	6,068千円
大宮町	7 (50ha)	-	9,735千円
網野町	-	1 (4ha)	826千円
丹後町	8 (65ha)	-	9,843千円
弥栄町	3 (38ha)	-	6,185千円
久美浜町	23 (194ha)	-	34,074千円
合 計	46 (387ha)	1 (4ha)	66,731千円

主 な 財 源

府補	中山間地域等直接支払制度事業補助金（3/4）	50,048千円
府補	中山間地域等直接支払制度推進事業補助金（定額）	286千円

成 果 ・ 課 題

○農業生産条件の不利地域である中山間地域等において、協定農用地を設定（391ha：H27～H31）することにより、将来に向けて耕作放棄地の発生防止等に取り組む体制を整えることができた。

○各集落において農業者の高齢化が進行しているため、若手の担い手農家育成や営農の広域化支援を進めながら、協定農用地の更なる拡充に取り組む必要がある。

所 管 課 農林水産部／農業振興課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業															
細事業名	01 土地利用調整推進事業			決算書 P.112															
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																	
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額															
4,602千円	4,606千円	4千円	99.9 %	12,808千円															
目的	公益社団法人京都府農業総合支援センター（農地中間管理機構）から農地中間管理事業を受託し、担い手への農地集積や適正な農地の保全を図る。																		
主要な事業・事業の概要	農地中間管理事業の業務委託を締結して事業を推進した。 平成29年度地域集積協力金交付事業では、50.3haの農地を貸出した。また、経営転換した農家1人に対して経営転換協力金を交付した。 ○農地中間管理事業に関する受託業務 1,860千円 ・臨時職員賃金（1人） 1,534千円 ・臨時職員社会保険料・雇用保険料 266千円 ・職員旅費 10千円 ・印刷製本費 50千円 ○地域集積協力金交付事業交付金 2,682千円 <table><tr><td>品田地区水田</td><td>17.5 ha</td><td>770千円</td></tr><tr><td>倉垣地区水田</td><td>12.1 ha</td><td>487千円</td></tr><tr><td>竹藤地区水田</td><td>0.5 ha</td><td>31千円</td></tr><tr><td>徳光地区水田</td><td>20.2 ha</td><td>1,394千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>50.3 ha</td><td>2,682千円</td></tr></table> ○経営転換協力金交付事業交付金 1人 60千円				品田地区水田	17.5 ha	770千円	倉垣地区水田	12.1 ha	487千円	竹藤地区水田	0.5 ha	31千円	徳光地区水田	20.2 ha	1,394千円	合 計	50.3 ha	2,682千円
品田地区水田	17.5 ha	770千円																	
倉垣地区水田	12.1 ha	487千円																	
竹藤地区水田	0.5 ha	31千円																	
徳光地区水田	20.2 ha	1,394千円																	
合 計	50.3 ha	2,682千円																	
主な財源	府補 諸収入	機構集積協力金交付事業費補助金（10/10） 農地中間管理機構事業等業務委託金		2,742千円 1,855千円															
成果・課題	○地域との土地利用調整を適正に行い、農地中間管理機構に農地を貸し出し、地域集積協力金を活用したことで担い手への農地集積が図られた。 ○農地集積を円滑に図るため、地域で作成する京力農場プランと連携した土地利用調整を効率的に進めていく必要がある。																		
所管課	農林水産部／農業振興課																		

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業																					
細事業名	02 京力農場ﾌﾟﾗﾝ作成等事業			決算書 P.112																					
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																					
490千円	490千円	0千円	100.0 %	490千円																					
目的	各地域が主体的に地域農業の在り方について議論を進めることで、中核的な担い手への農地集積を促し、地域農業の競争力・体質強化を図る。																								
主要な事業・事業の概要	○京力農場プラン検討会活動経費 90千円 農業経営者会議、農業委員会、京都府、京都農業協同組合などの関係機関で組織する「京力農場プラン検討会」を設置し、集落や地域単位で作成された「京力農場プラン（案）」について検討及び審査を行った。 ・京力農場プラン検討委員謝金 60千円 委員数：8人 検討会：3回開催 ・消耗品費 30千円 ＜平成29年度京力農場プラン作成実績＞ <table><tr><td></td><td>新 規</td><td>更 新</td></tr><tr><td>大宮町</td><td></td><td>三重地区、国営口大野団地、国営善王寺団地</td></tr><tr><td>網野町</td><td>島津大谷地区</td><td>新庄地区、国営島津2団地</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>徳光地区</td><td>国営高山団地</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td></td><td>国営木橋団地</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>神崎地区</td><td>国営永留7団地</td></tr><tr><td>合 計</td><td>3地区</td><td>8地区</td></tr></table> ○農業経営法人化等支援事業補助金 400千円 事業主体：㈱自然耕房あおき 事業目的：オーガニック農産物の製造及び販売					新 規	更 新	大宮町		三重地区、国営口大野団地、国営善王寺団地	網野町	島津大谷地区	新庄地区、国営島津2団地	丹後町	徳光地区	国営高山団地	弥栄町		国営木橋団地	久美浜町	神崎地区	国営永留7団地	合 計	3地区	8地区
	新 規	更 新																							
大宮町		三重地区、国営口大野団地、国営善王寺団地																							
網野町	島津大谷地区	新庄地区、国営島津2団地																							
丹後町	徳光地区	国営高山団地																							
弥栄町		国営木橋団地																							
久美浜町	神崎地区	国営永留7団地																							
合 計	3地区	8地区																							
主な財源	府補	京力農場ﾌﾟﾗﾝ作成事業費補助金（1/2、定額）		445千円																					
成果・課題	○担い手の確保・育成や農地集積計画などを総合的にまとめた「京力農場プラン」を、これまでに58地区で作成したことにより、該当地域における5年後に目指すべき姿、課題を明確にすることができた。 ○引き続き、プランの新規策定と更新に取り組む地区等を支援する必要がある。																								
所管課	農林水産部／農業振興課																								

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業
細 事 業 名	01 実践農場整備支援事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
20千円	20千円	0千円	100.0 %	780千円
目的	新規就農希望者の就農予定地域での農業研修、地域定着に係る対象経費等を支援することにより、地域農業の担い手の確保を図る。			
主要な事務・事業の概要	新規就農希望者や担い手不足の地域などからの要望に応じて実践農場を設置し、地域と一体となって農業研修等に係る対象経費を支援した。 ○新規就農者実践農場整備支援事業補助金 20千円 【和田野実践農場】 ・設置期間：平成30年3月～平成32年2月予定 ・研修用機械等整備費：20千円 × 1か月 × 1農場			
主な財源	府補 新規就農者実践農場整備支援事業補助金（1/2）			10千円
成果・課題	○農業経営当初は経済的負担が大きいため、農業機械のリースを支援することで、新規就農者の誘致や参入の一助となった。 ○新規就農者の技術的に拙い点も後見人の設置でカバーできるため、今後は後見人の設置についても支援していく必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

150

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業												
細 事 業 名	02 就農研修資金償還金助成事業			決算書 P.112												
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興														
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額												
480千円	480千円	0千円	100.0 %	480千円												
目的	新規就農者の借受資金の償還を支援することにより、地域農業の担い手確保及び育成を図る。															
主要な事務・事業の概要	京都府就農研修資金を借り受けて就農研修を行った後、市内において新規就農し、かつ就農時の年齢や就農形態が一定の要件を満たす者に対し、その償還金の一部を助成した。 ○新規就農研修資金償還金助成金 480千円 ・償還条件：償還期間は就農後10年（うち据置5年）、5年均等償還 ・支給要件：償還期間中は就農（雇用による就農は除く）していること ・助成対象：1人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>貸付決定年度</th><th>貸付決定金額</th><th>償還期間</th><th>単年度償還額</th><th>助成率</th><th>単年度助成額</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H22</td><td>3,600千円</td><td>H29～H33</td><td>720千円</td><td>2/3</td><td>480千円</td></tr> </tbody> </table>				貸付決定年度	貸付決定金額	償還期間	単年度償還額	助成率	単年度助成額	H22	3,600千円	H29～H33	720千円	2/3	480千円
貸付決定年度	貸付決定金額	償還期間	単年度償還額	助成率	単年度助成額											
H22	3,600千円	H29～H33	720千円	2/3	480千円											
主な財源	府補 就農研修資金償還金助成事業費補助金（1/2以内）			240千円												
成果・課題	就農意欲の喚起を図るとともに、就農初期の負担の軽減を図ることができた。															
所 管 課	農林水産部／農業振興課															

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業
細 事 業 名	03 新規就農総合支援事業			決算書 P.112
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
46,479千円	46,489千円	10千円	99.9 %	49,991千円
目 的	経営の不安定な就農初期の所得確保を支援するために、青年就農者に給付金を給付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○新規就農総合支援事業補助金 44,625千円 青年就農給付金（経営開始型） ・個人経営体 - 全期給付 1,500千円／年 × 26人 = 39,000千円 - 半期給付 750千円／年 × 6人 = 4,500千円 ・夫婦共同経営体 - 半期給付 1,125千円／年 × 1夫婦 = 1,125千円 ※独立自営就農で、その就農時の年齢が45歳未満など、一定の要件を満たす青年就農者に対し、年間150万円（夫婦共同経営の場合は225万円）を給付する。給付期間は、既に経営を開始している場合を除き、農業経営開始後5年間。 ○推進事務費（旅費、需用費、役務費） 1,854千円 ・農業次世代人材投資事業推進員報酬（2人、9か月） 1,625千円 ・農業次世代人材投資事業推進員費用弁償、普通旅費 88千円 ・消耗品費（事務用品） 119千円 ・通信運搬費（郵便代） 18千円 ・有料道路通行料 4千円			
主 な 財 源	府補	新規就農総合支援事業費補助金	46,438千円	
成 果 ・ 課 題	○青年就農者に対して給付金を給付し、経営の不安定な就農初期の所得確保を支援することで、就農意欲の喚起を図ることができた。 ○引き続き関係機関と連携して営農指導・支援を行い、経営の安定化や認定農業者への経営発展を図る必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業											
細 事 業 名	04 丹後農業経営実践型学舎推進事業			決算書 P.112											
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興													
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額											
10,796千円	10,953千円	157千円	98.5 %	10,162千円											
目的	京都府と京丹後市が共同で創設した「丹後農業実践型学舎」の経費負担を行い、新たに国営開発農地に入植する安定的な農業生産の担い手育成を図る。														
主要な 事務・事業の 概要	平成25年7月に創設した「丹後農業実践型学舎」に係る京丹後市所有の施設、車両等の経費並びに学舎用地整備における市負担金を支出した。														
	○研修生滞在施設の管理経費			235千円											
	・光熱水費（共同棟の水道、下水道、電気代）			117千円											
	・修繕料（漏水修理、給湯器修理）			21千円											
	・火災保険料			31千円											
	・消防設備等保守点検委託料			11千円											
	・テレビ受信料			55千円											
	○液肥関連車両の管理経費			227千円											
	・液肥運搬車の車検修繕料			120千円											
	・自動車登録手数料（液肥運搬車の車検代行手数料）			19千円											
・自動車損害保険料（液肥運搬車、液肥散布車）			60千円												
・公課費（液肥運搬車の自動車重量税）			28千円												
○学舎用地整備事業に係る負担金			10,334千円												
（京都府）府営基盤整備促進事業・府営農地耕作条件改善事業 事業費：51,672千円（市負担率20%） 農地整備：（新規工事）善王寺団地、永留7団地 （補完工事）口大野団地、内記団地、二箇団地、高山団地															
【参考】															
<table><tr><td></td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>入学舎生</td><td>10人</td><td>7人</td><td>5人</td><td>5人</td><td>4人</td></tr></table>					H25	H26	H27	H28	H29	入学舎生	10人	7人	5人	5人	4人
	H25	H26	H27	H28	H29										
入学舎生	10人	7人	5人	5人	4人										
主な財源	使用料 市債	丹後農業実践型学舎研修生滞在施設使用料 農業経営実践型学舎用地整備負担金事業債（合併特例債）		205千円 9,800千円											
成果・課題	○丹後農業実践型学舎事業に係る施設及び機械設備の維持管理費用を支出し、事業を円滑に実施することができた。 ○今後の学舎生増員のためには、学舎用地を計画的に確保していく必要がある。 ○市外から入舎している学舎生が、学舎修了後に定住できる住宅の確保を支援していく必要がある。														
所 管 課	農林水産部／農業振興課														

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04新規就農者育成事業
細事業名	06 新規就農条件整備支援事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,367千円	1,367千円	0千円	100.0%	2,000千円
目的	新規就農者の就農時又は経営が不安定な就農初期における農業用機械、施設等の整備に係る費用を支援し、地域農業の新たな担い手の育成・確保を図る。			
主要な事務・事業の概要	○新規就農条件整備支援事業補助金			1,367千円
	・事業主体：認定新規就農者			
	※学舎卒業生及びその他の新規就農者のうち、青年等就農計画の認定を受けた者（農業経営基盤強化促進法第14条の4第1項）			
	・対象経費：農業用機械、施設等のリース料			
	・補助率：3/10（上限400千円/年）※消費税除く			
	・補助期間：3年			
	・補助要件：京都府農業総合支援センターが実施する若手農業者経営力向上支援事業の採択を受けていること			
	(単位：千円)			
	事業実施主体	事業内容（リース物件）	事業費	補助金額
	認定新規就農者 (6人)	マルチロータリー、フレールモア、堀上機、つる切機、トラクター 各1台	1,088	302
ネギ皮むき機、掘取機 各1台		195	54	
人参洗浄機、トラクター、マルチロータリー 各1台		668	185	
トラクター、平畝マルチ、管理機、グランドソー、堀上機、野菜洗浄機、ラジコン動噴、野菜移植機 各1台		1,136	315	
マルチロータリー 2台				
トラクター 1台		1,019	283	
	ネギ皮むき機 2台、中型管理機 1台	824	228	
	合 計	4,930	1,367	
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	1,000千円	
成果・課題	新規就農者の初期投資に係る負担を軽減することができた。			
所管課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	05農産物流通対策事業
細 事 業 名	01 農産物流通対策事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
1,922千円	2,000千円	78千円	96.1 %	2,000千円
目的	京丹後の顔が見える流通を進めるため、地産地消、地産都消、輸出等の新たな取組を支援し、販路拡大と農業者等の所得向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	新たな流通を生み出す取組（商談会等）に対して補助金を交付し、市内農産物の販路拡大を図った。			
	○国内外販路開拓促進事業費補助金（補助率：1/2以内）			1,922千円
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額
	農業者 (9人)	沖縄での商談会に参加	375千円	187千円
		マレーシア、沖縄、東京での商談会に参加	485千円	242千円
		沖縄、マレーシア、シンガポールでの商談会に参加	473千円	236千円
		京都市内での商談会に参加	275千円	137千円
		大阪市内での商談会に参加	549千円	200千円
		沖縄、香港、バンコクでの商談会に参加	701千円	350千円
		東京での商談会に参加	225千円	117千円
		香港、バンコクでの商談会に参加	683千円	341千円
		台湾での商談会に参加	224千円	112千円
合 計		3,990千円	1,922千円	
主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金			1,000千円
成果・課題	○国外への輸出等新たな流通を生み出すことに対する経費を支援し、農家の積極的な取組を後押しすることができた。また、新たな販路が開拓されたことで、農家の経営と所得の向上が図れ、京丹後市のPRにもつながった。 ○関係機関等で取組グループの情報共有を進めるとともに、更なる流通の拡大を図るため、引き続き市内農産物のブランド化推進やPRに取り組んでいく必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	06集落営農発展型農場づくり事業	
細 事 業 名	01 集落営農発展型農場づくり事業				決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額	
2,548千円	2,548千円	0千円	100.0 %	8,330千円	
目的	「京力農場プラン」に基づき集落営農組織等が取り組む農地集積・経営基盤強化に係る体制整備を支援し、地域農業の維持・発展を図る。				
主要な事務・事業の概要	地域で策定された「京力農場プラン」に基づき、地域農業再生の核となる法人等が実施する加工・流通販売の多角化や、特別栽培米の生産拡大に向けた取組に対して補助金を交付した。				
	○集落営農発展型産地づくり事業費補助金				2,548千円
	補助率：京野菜生産拡大型（府：40%、市：5%）				
	(単位：千円)				
	事業実施主体	内 容	事業費	補助金額	
	(有)アグリランドさんとよ	グレイタス1台	1,037	465	
		サイバーハロー1台	1,143	514	
		ディスクローダー1台	515	231	
		高床式運搬車1台	450	202	
		籾摺機1台	760	342	
計量機1台		278	124		
ネギ皮むき機1台		405	182		
コンプレッサー1台		516	231		
汎用トレーラー1台		574	257		
合 計		5,678	2,548		
主な財源	府補	集落営農発展型農場づくり事業費補助金（1/2以内）			2,269千円
成果・課題	○担い手が不足する地域をけん引する集落営農組織等への支援により、営農継続につながる体制強化が図られた。 ○事業要望のある組織等に関しては、補助要件である「京力農場プラン」の策定段階から、法人化等に向けた検討を関係機関や該当地域と連携しながら進める必要がある。				
所 管 課	農林水産部／農業振興課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	08地域農業振興事業																																
細 事 業 名	01 地域農業振興事業			決算書 P.112																																
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																
1,997千円	2,000千円	3千円	99.8 %	2,000千円																																
目的	地域農業のけん引役となる認定農業者や集落営農組織等の取組を支援し、足腰の強い地域農業の推進と農村の有する多面的機能の維持・発展を図る。																																			
主要な事務・事業の概要	営農規模の拡大や省力化による生産コスト削減に取り組む認定農業者、及び集落営農組織等が行う機械・施設等の導入に対して補助金を交付した。 ○地域農業振興事業補助金 1,997千円 (単位：千円) <table><tr><th>事業実施主体</th><th>導入機械等</th><th>事業費</th><th>補助金額</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="4">認定農業者 (4人)</td><td>トラクター1台</td><td>4,320</td><td>433</td><td>峰山町</td></tr><tr><td>トラクター1台</td><td>1,080</td><td>433</td><td>網野町</td></tr><tr><td>ステレオスプレーヤ1台</td><td>2,986</td><td>433</td><td>久美浜町</td></tr><tr><td>ライスプール（貯蓄タンク）の新設と増設</td><td>613</td><td>265</td><td>弥栄町</td></tr><tr><td>須田営農作業場</td><td>乾燥機1台</td><td>1,450</td><td>433</td><td>久美浜町</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>10,449</td><td>1,997</td><td></td></tr></table>				事業実施主体	導入機械等	事業費	補助金額	備 考	認定農業者 (4人)	トラクター1台	4,320	433	峰山町	トラクター1台	1,080	433	網野町	ステレオスプレーヤ1台	2,986	433	久美浜町	ライスプール（貯蓄タンク）の新設と増設	613	265	弥栄町	須田営農作業場	乾燥機1台	1,450	433	久美浜町	合 計		10,449	1,997	
事業実施主体	導入機械等	事業費	補助金額	備 考																																
認定農業者 (4人)	トラクター1台	4,320	433	峰山町																																
	トラクター1台	1,080	433	網野町																																
	ステレオスプレーヤ1台	2,986	433	久美浜町																																
	ライスプール（貯蓄タンク）の新設と増設	613	265	弥栄町																																
須田営農作業場	乾燥機1台	1,450	433	久美浜町																																
合 計		10,449	1,997																																	
主な財源	府補 繰入金	未来づくり交付金（地域農業振興事業補助金） ふるさと応援基金繰入金		738千円 1,000千円																																
成果・課題	認定農業者及び集落営農組織の取組を支援したことで、農地規模拡大や作業の省力化が図れた。																																			
所 管 課	農林水産部／農業振興課																																			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	10中山間地域所得向上支援事業
細 事 業 名	01 中山間地域所得向上支援事業（繰越）			決算書 P.112
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
14,644千円	14,644千円	0千円	100.0 %	14,644千円
目 的	「中山間地域所得向上計画」に基づき、丹後重点推進品目である市内産トマトの出荷施設を整備することにより、選果作業の省力化と生産面積の拡大を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	老朽化した久美浜トマト生産組合のトマト選果機整備費用に対して補助金を交付した。			
	○中山間地域所得向上支援事業補助金			14,644千円
	補助率：50%			
	(単位：千円)			
	事業実施主体	内 容	事業費	補助金額
	久美浜町トマト生産組合	トマト選果機 一式	29,289	14,644
主 な 財 源	府補 中山間地域所得向上支援事業費補助金 (1/2)			14,644千円
成 果 ・ 課 題	処理能力の高い新たな選果機に更新したことにより、丹後重点推進品目（トマト）の選果作業の省力化と生産面積の拡大につながった。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	111次産品活用推進事業																																								
細 事 業 名	01 1次産品活用推進事業			決算書 P.112																																								
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																										
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																								
1,891千円	1,896千円	5千円	99.7 %	0千円																																								
目的	農林水産物のブランド化に向けた調査研究やPR活動を支援することにより、京丹後ならではの旬やこだわりの食でもてなす美食観光事業を推進する。																																											
主要な事務・事業の概要	○地元産食材の情報収集事業 890千円 ・農林水産物等情報収集データ作成（人材派遣委託料） 585千円 ・久美浜湾力キ養殖生産実態等調査業務委託料 258千円 ・消耗品費（事務用品） 47千円 ○農産物流通チャレンジ支援事業 951千円 地元産食材の流通体制や販売力を強化するため、市内での新たな販路開拓や流通方法の取組にチャレンジする農業者等に対して補助金を交付した。 (単位：千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th><th>取組内容</th><th>事業費</th><th>補助金額</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農産物加工流通組合</td><td>野菜乾燥機</td><td>300</td><td>200</td><td>峰山町</td></tr> <tr> <td>とくら工房</td><td>チラシ、HP作成</td><td>126</td><td>84</td><td>丹後町</td></tr> <tr> <td>産直組合京たんご</td><td>梱包機、HP作成</td><td>386</td><td>200</td><td>網野町</td></tr> <tr> <td>地産地消拡大グループ</td><td>学校給食への供給</td><td>100</td><td>67</td><td>丹後町</td></tr> <tr> <td>京丹後市茶生産組合</td><td>原料保管庫、ラベル</td><td>301</td><td>200</td><td>久美浜町</td></tr> <tr> <td>網野太ねぎ部会</td><td>出荷用箱、パッケージ</td><td>308</td><td>200</td><td>網野町</td></tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td><td>1,521</td><td>951</td><td></td></tr> </tbody> </table> ○京丹後米ブランド化推進事業 ・京丹後産コシヒカリPR活動用資材 50千円 丹後王国「食のみやこ」月例祭（平成29年11月19日、12月17日） ○京丹後スイーツプロジェクト事業 市内の旬の農産物を使ったスイーツの登録制度を創設し、市のHPや広報でPR ※京丹後スイーツとして21店舗、41品の登録				事業実施主体	取組内容	事業費	補助金額	備 考	農産物加工流通組合	野菜乾燥機	300	200	峰山町	とくら工房	チラシ、HP作成	126	84	丹後町	産直組合京たんご	梱包機、HP作成	386	200	網野町	地産地消拡大グループ	学校給食への供給	100	67	丹後町	京丹後市茶生産組合	原料保管庫、ラベル	301	200	久美浜町	網野太ねぎ部会	出荷用箱、パッケージ	308	200	網野町	合 計		1,521	951	
事業実施主体	取組内容	事業費	補助金額	備 考																																								
農産物加工流通組合	野菜乾燥機	300	200	峰山町																																								
とくら工房	チラシ、HP作成	126	84	丹後町																																								
産直組合京たんご	梱包機、HP作成	386	200	網野町																																								
地産地消拡大グループ	学校給食への供給	100	67	丹後町																																								
京丹後市茶生産組合	原料保管庫、ラベル	301	200	久美浜町																																								
網野太ねぎ部会	出荷用箱、パッケージ	308	200	網野町																																								
合 計		1,521	951																																									
主な財源																																												
成果・課題	○農林水産物の食材リストの作成や農林水産物を用いたスイーツの登録制度創設、PR等を実施したこと、旬の食材の掘り起こしやPRができた。 ○市内の農林水産物を市内で活発に流通させていくために、新たな取り組みを実施した事業団体を支援することで、地元産食材の流通体制や販売力を強化することができた。 ○美食観光事業を推進するため、観光業者と連携して、作成した食材リストや登録したスイーツを京丹後市の「旬の食」として、多くの方にPRしていく必要がある。																																											
所 管 課	農林水産部／農業振興課																																											

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業
細 事 業 名	01 水田農業振興推進事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
6,907千円	6,914千円	7千円	99.8 %	7,900千円
目的	経営所得安定対策等を円滑に実施し、農業者の経営の安定を図ることにより、農業の振興を推進する。			
主要な事務・事業の概要	経営所得安定対策等に係る推進活動や要件確認等を実施し、農業者の経営の安定化を支援した。 ○経営所得安定対策等推進事業に係る経費 6,907千円 ・職員時間外勤務等手当 663千円 ・臨時職員賃金等(2人) 3,121千円 ・経営所得安定対策推進謝金(184集落) 1,224千円 ・転作現地確認謝金(90集落) 258千円 ・事務等経費 1,641千円 (旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、郵送料ほか)			
主な財源	府補	数量円滑化推進事業費補助金(10/10)	707千円	
	府補	経営所得安定対策推進事業費補助金(10/10)	6,200千円	
成果・課題	○経営所得安定対策等制度への加入促進や交付金の受領等、各種事務を適切に行うことで、多くの農業者が安心できる農業経営に寄与できた。 ○農業者の経営安定と米の需給調整につながる経営所得安定対策等の制度に、さらに多くの加入を促す必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業
細 事 業 名	02 特別栽培米団地化促進事業			決算書 P.112
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
430千円	430千円	0千円	100.0 %	700千円
目的	環境に配慮した特別栽培米の生産拡大を図ることにより、付加価値の高い米づくりを促進する。			
主要な事務・事業の概要	特別栽培米の団地化(1ha以上)の取組を支援した。 ○特別栽培米団地化促進補助金 430千円 ・補助対象： 京丹後市地域農業再生協議会 ・補助額： 1ha以上の団地化に対する基本助成を5,000円とし、さらに、1ha単位で増加した団地に5,000円/haを加算 ・取組実績： 86ha×5千円=430千円			
主な財源				
成果・課題	○京丹後市地域農業再生協議会を通じて、特別栽培米の団地化の推進及び良質米生産の推進に寄与できた。 ○特別栽培米の団地化には農業者の組織化が重要なため、今後も引き続き集落単位での営農を推進していく必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農業振興課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業
細事業名	04「京の米」生産イノベーション事業			決算書 P.114
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
8,906千円	8,906千円	0千円	100.0 %	0千円
目的	特別栽培米等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、環境に配慮した商品価値の高い米づくりを推進する。			
主要な事務・事業の概要	特別栽培米の作付面積の拡大を図るため、生産に必要な農業用機械の導入に対して補助金を交付した。			
	○「京の米」生産イノベーション事業補助金			8,906千円
	(単位：千円)			
	事業実施主体	事業内容	事業費	府補助 市補助 補助金額 備考
	徳光地区特別栽培米組合	色彩選別機 一式 選別計量機 一式	4,600	40% 5%
(株)ひらばやし農産	コンバイン(6条刈り)	12,430	50% 5%	6,836 久美浜
	合 計	17,030		8,906
主な財源	府補 「京の米」生産イノベーション事業補助金 (4/10、1/2)			8,055千円
成果・課題	○特別栽培米用機械の整備により、刈取り作業及び出荷作業の効率化が図られ、早期出荷による有利な販売につなげることができた。 ○特別栽培米の面積の拡大には農地の団地化と営農者の組織化が重要なため、今後も引き続き、集落単位での取組を広げていく必要がある。			
所管課	農林水産部／農業振興課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業																												
細事業名	05 京の地域特産物応援事業			決算書 P.114																												
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																												
1,142千円	1,143千円	1千円	99.9 %	0千円																												
目的	実需者の要望する農産物を生産するため、地域営農組織等が導入する生産機器購入経費を支援することで、継続可能な農業生産体制を構築する。																															
主要な事務・事業の概要	地域営農組織等が、実需者（取引先：食品事業者等）からの要望品目の栽培に対応するために必要な機器等の導入に対して、補助金を交付した。 ○需要対応型特産物生産支援事業補助金 1,142千円 (単位：千円) <table> <tr> <th>事業実施主体</th><th>事業内容</th><th>総事業費</th><th>府補助</th><th>市補助</th><th>補助金額</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>谷ヶ奥黒豆部会</td><td>脱莢機1台</td><td>1,053</td><td>50%</td><td>5%</td><td>578</td><td>大宮町</td></tr> <tr> <td>(株)みらい久美浜</td><td>小豆投入機付ベルトコンベア</td><td>1,026</td><td>50%</td><td>5%</td><td>564</td><td>久美浜町</td></tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td><td>2,079</td><td></td><td></td><td>1,142</td><td></td></tr> </table>				事業実施主体	事業内容	総事業費	府補助	市補助	補助金額	備考	谷ヶ奥黒豆部会	脱莢機1台	1,053	50%	5%	578	大宮町	(株)みらい久美浜	小豆投入機付ベルトコンベア	1,026	50%	5%	564	久美浜町	合 計		2,079			1,142	
事業実施主体	事業内容	総事業費	府補助	市補助	補助金額	備考																										
谷ヶ奥黒豆部会	脱莢機1台	1,053	50%	5%	578	大宮町																										
(株)みらい久美浜	小豆投入機付ベルトコンベア	1,026	50%	5%	564	久美浜町																										
合 計		2,079			1,142																											
主な財源	府補 京の地域特産物応援事業補助金 (1/2)			1,039千円																												
成果・課題	○生産が増えている大豆・小豆について、当該補助金を交付することで生産コストの削減を行うことができた。 ○今後、さらに大豆・小豆の生産規模の拡大が予想されるため、当該補助の拡充を検討する必要がある。																															
所管課	農林水産部／農業振興課																															

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	50畜産振興一般経費	
細 事 業 名	01 畜産振興一般経費				決算書 P.114
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
38千円	41千円	3千円	92.6 %	46千円	
目的	円滑な畜産行政事務及び畜産振興の推進を図る。				
主要な事務・事業の概要	飼育状況調査の実施と家畜防疫に必要な事務を実施した。 ○畜産振興の推進に係る経費 8千円 ・職員旅費、消耗品費 ○京都府畜産振興協会会費 30千円				
主な財源	府委 家畜伝染病予防事務委託金				5千円
成果・課題	円滑な畜産行政事務及び畜産振興の推進が図れた。				
所 管 課	農林水産部／農業振興課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	01アグリセンター管理運営事業																						
細 事 業 名	01 アグリセンター管理運営事業				決算書 P.114																					
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																								
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額																						
7,195千円	7,381千円	186千円	97.4 %	7,370千円																						
目的	アグリセンター大宮の維持管理及び運営を行い、市内の農業関係者や農村地域のリーダー育成及び市民福祉の向上に寄与する。																									
主要な事務・事業の概要	市内の農業関係者の知識・技術習得及び農村地域のリーダー人材育成に係る研修や講演の会場として、更に教育・福祉・産業に関する各種会議への活用により、地域農林業の振興と地域福祉の増進を図れるよう、施設の管理運営を行った。 ○需用費 4,006千円 消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、 修繕料（舗装陥没補修、高圧受変電設備改修、換気設備増設修繕等） ○役務費 通信運搬費、廃消火器処理手数料、火災保険料 50千円 ○委託料 3,001千円 施設清掃、設備保守管理、移動観覧席点検、空調設備保守点検、 自動ドア保守点検、エレベーター保守点検、消防設備等保守点検、 特殊建築物・設備定期報告業務、休日・夜間管理業務、害虫駆除 ○使用料及び賃借料 テレビ受信料、清掃用具借上料 47千円 ○備品購入費 ワイヤレスハンドマイク(2本)、消火器(5本) 91千円 <利用実績> <table><tr><th>区 分</th><th>利用件数</th><th>利用人数</th></tr><tr><td>農業技術研修室</td><td>323件</td><td>3,365人</td></tr><tr><td>視聴覚教育室</td><td>281件</td><td>5,826人</td></tr><tr><td>地域活性化研修室</td><td>219件</td><td>3,600人</td></tr><tr><td>多目的ホール（エントランス含む）</td><td>188件</td><td>16,444人</td></tr><tr><td>調理加工実習室</td><td>52件</td><td>1,330人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,063件</td><td>30,565人</td></tr></table>					区 分	利用件数	利用人数	農業技術研修室	323件	3,365人	視聴覚教育室	281件	5,826人	地域活性化研修室	219件	3,600人	多目的ホール（エントランス含む）	188件	16,444人	調理加工実習室	52件	1,330人	合 計	1,063件	30,565人
区 分	利用件数	利用人数																								
農業技術研修室	323件	3,365人																								
視聴覚教育室	281件	5,826人																								
地域活性化研修室	219件	3,600人																								
多目的ホール（エントランス含む）	188件	16,444人																								
調理加工実習室	52件	1,330人																								
合 計	1,063件	30,565人																								
主な財源	使用料	アグリセンター使用料			1,328千円																					
成果・課題	○農林業の振興に係る研修会及び講演会の会場として、また、福祉や教育など幅広い分野で施設活用ができた。 ○築後20年以上が経過する中で、設備や機材の老朽化が目立つため、計画的な修繕を実施するなど、適切な施設管理を行う必要がある。																									
所 管 課	農林水産部／農業振興課																									

予 算 科 目		06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	02農業関連施設管理運営事業	
細 事 業 名					決算書	P.114
01 農業関連施設管理運営事業						
総合計画		計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①		最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
9,150千円		9,250千円	100千円	98.9 %	5,678千円	
目的	農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の適切な維持管理を行うことにより、農業振興を図る。					
主要な事務・事業の概要	農業関連施設、弥栄農家用貸付住宅（4棟）、弥栄都市農村交流実践施設を適切に管理した。 ○農業関連施設火災保険料（30施設）215千円 ○弥栄都市農村交流実践施設【もんやこ】131千円 ・維持管理経費（燃料費、光熱水費等）49千円 ・消防設備等点検委託料24千円 ・浄化槽維持管理委託料58千円 ○弥栄農家用貸付住宅89千円 ・3号・4号住宅修繕（水道栓及び温水器の修繕等） ○久美浜総合交流販売施設【くみはまSANKAIKAN】3,340千円 ・フェンス修繕311千円 ・厨房等空調設備改修工事1,544千円 ・厨房等空調設備改修工事設計監理委託410千円 ・食器洗浄機購入696千円 ・駐車場用地借上料（2,724㎡）379千円 ○弥栄果樹園管理棟併用休憩施設【フルーツ王国】4,831千円 ・屋根等改修工事4,766千円 ・屋根等改修工事監理委託65千円 ○大宮農産物加工直売施設【畔蔵】497千円 ・自動火災報知設備整備工事 ○近畿「道の駅」連絡会会費47千円					
主な財源	使用料	公有財産使用料	46千円			
	使用料	貸付農家住宅使用料	1,404千円			
	諸収入	市有建物損害共済金	136千円			
	諸収入	市有建物火災保険料負担金、自動火災報知設備設置負担分	339千円			
	市債	農業関連施設整備事業債（合併特例債）	4,500千円			
成果・課題	○農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の維持管理を行い、多くの使用者に適切に使用してもらうことができた。 ○建築後年数が経過した建物もあることから、利用者に安全な施設として活用されるよう、修繕及び適切な施設管理を行う必要がある。					
所 管 課		農林水産部／農業振興課				

404

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	03クラインガルテン管理運営事業
細事業名	01 クラインガルテン管理運営事業			決算書 P.114
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額
2,548千円	2,691千円	143千円	94.6 %	2,984千円
目的	蒲井・旭地域振興計画に基づき整備した施設の維持管理を行い、短期型から滞在型観光への転換を目指し、農村と都市との交流を図り農業振興と地域活性化に資する。			
主要な事務・事業の概要	農園付宿泊施設（ラウベ）と周辺施設等の維持管理を行った。 ○需用費 633千円 消耗品費、燃料代（除雪機・草刈機・耕運機）、電気代、修繕料（草刈機・除雪機・量水器等） ○役務費 64千円 郵送料、浄化槽法定検査料、貯水槽等清掃保守点検手数料、ケーブルテレビ一時停止手数料、火災保険料 ○委託料 1,704千円 施設清掃、水質検査、浄化槽維持管理、施設ごみ運搬、クラインガルテン管理運営 ○土地借上料（3,475㎡） 147千円 〔クラインガルテン交流会の開催〕 ・平成29年4月16日（日） お花見会 参加者6人 ・平成29年7月23日（日） 「蒲井旭地区ふれあい住民まつり」と同時開催 参加者22人			
主な財源	使用料	市民農園使用料	2,548千円	
成果・課題	○主に都市部からの使用者が滞在する宿泊施設及び共用部分の維持管理を実施したほか、4月と7月には使用者と地元住民の交流会が実施され、地域間交流を図ることができた。 ○適切な入居募集を行い、空き棟が出ないよう努める必要がある。			
所管課	農林水産部／農業振興課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	04丹後王国「食のみやこ」支援事業
細 事 業 名	01 丹後王国「食のみやこ」支援事業			決算書 P.114
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額
28,923千円	28,927千円	4千円	99.9 %	28,927千円
目 的	丹後王国「食のみやこ」の運営及び各種イベントの開催を支援し、利用促進を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	丹後王国「食のみやこ」の運営に対して負担金を支出するとともに、関連施設の維持管理経費を支出した。			
	○丹後王国「食のみやこ」運営費負担金			28,640千円
	内 訳		金 額	
	財団運営人件費等負担分		3,300千円	
	施設維持管理費負担分		960千円	
	丹後王国「食のみやこ」運営費負担分		24,380千円	
	○火災保険料（展望台、昆虫館、売店）			29千円
	○土地借上料（臨時駐車場等：弥栄町鳥取地内）			254千円
	＜丹後王国「食のみやこ」来園者数＞			
	平成25年度		109,242人	（平成26年4～11月）
平成26年度		105,107人		
平成27年度		525,566人		
平成28年度		474,308人		
平成29年度		398,960人		
	※ 平成26年12月から平成27年3月までは改装のため休業			
	※ 平成27年4月19日から、丹後王国「食のみやこ」と名称変更し、リニューアルオープン			
主 な 財 源	繰入金 諸収入	ふるさと応援基金繰入金 太陽光発電余剰電力料	10,000千円 70千円	
成 果 ・ 課 題	農商工親連携の重要な拠点施設であるため、他の施設との連携を図りながら運営され、より一層の利用促進が図られるよう支援する必要がある。			
所 管 課		農林水産部／農業振興課		

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	09農業集落排水事業費	01集落排水事業特別会計繰出金																																																												
細 事 業 名	01 集落排水事業特別会計繰出金			決算書 P.114																																																												
総 合 計 画	計 画 項 目	16 きれいな水を循環させる上下水道の整備																																																														
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																																																												
246,000千円	246,000千円	0千円	100.0 %	246,000千円																																																												
目 的	総務省から示される下水道事業に対する繰出基準を参考に集落排水事業特別会計へ繰出金を支出することにより、同会計の経営の健全化を促進し経営基盤の強化を図る。																																																															
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	一般会計から集落排水事業特別会計に対して繰出金を支出した。 【繰出金の内容】 (単位：千円) <table border="1"> <tr> <th>項 目</th><th>農業集排</th><th>漁業集排</th><th>合 計</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>起債償還元金</td><td>37,991</td><td>0</td><td>37,991</td><td></td></tr> <tr> <td>起債償還利子</td><td>8,648</td><td>0</td><td>8,648</td><td></td></tr> <tr> <td>分流式下水道等経費</td><td>140,880</td><td>4,123</td><td>145,003</td><td></td></tr> <tr> <td>高資本対策経費</td><td>30,060</td><td>567</td><td>30,627</td><td></td></tr> <tr> <td>児童手当</td><td>660</td><td>0</td><td>660</td><td></td></tr> <tr> <td>地方公営企業法適用経費</td><td>62</td><td>0</td><td>62</td><td></td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>218,301</td><td>4,690</td><td>222,991</td><td></td></tr> <tr> <td>起債償還元金</td><td>20,368</td><td>2,566</td><td>22,934</td><td></td></tr> <tr> <td>建設改良費</td><td>75</td><td>0</td><td>75</td><td>公共汚水ます設置工事、マンホール改良工事</td></tr> <tr> <td>小 計</td><td>20,443</td><td>2,566</td><td>23,009</td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>238,744</td><td>7,256</td><td>246,000</td><td></td></tr> </table>				項 目	農業集排	漁業集排	合 計	備 考	起債償還元金	37,991	0	37,991		起債償還利子	8,648	0	8,648		分流式下水道等経費	140,880	4,123	145,003		高資本対策経費	30,060	567	30,627		児童手当	660	0	660		地方公営企業法適用経費	62	0	62		小 計	218,301	4,690	222,991		起債償還元金	20,368	2,566	22,934		建設改良費	75	0	75	公共汚水ます設置工事、マンホール改良工事	小 計	20,443	2,566	23,009		合 計	238,744	7,256	246,000	
項 目	農業集排	漁業集排	合 計	備 考																																																												
起債償還元金	37,991	0	37,991																																																													
起債償還利子	8,648	0	8,648																																																													
分流式下水道等経費	140,880	4,123	145,003																																																													
高資本対策経費	30,060	567	30,627																																																													
児童手当	660	0	660																																																													
地方公営企業法適用経費	62	0	62																																																													
小 計	218,301	4,690	222,991																																																													
起債償還元金	20,368	2,566	22,934																																																													
建設改良費	75	0	75	公共汚水ます設置工事、マンホール改良工事																																																												
小 計	20,443	2,566	23,009																																																													
合 計	238,744	7,256	246,000																																																													
主 な 財 源																																																																
成 果 ・ 課 題																																																																
所 管 課	上下水道部／下水道整備課																																																															

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業
細 事 業 名	01 小規模土地改良事業補助金			決算書 P.114
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額
1,318千円	1,318千円	0千円	100.0 %	2,000千円
目 的	農業用水路等の老朽化が進む中、地域の維持管理の効率的な取り組みを支援し、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	各地区及び農業団体が実施した小規模な農業用施設の維持管理に対して、機械借上料、原材料費を対象に補助金を交付した。			
	○小規模土地改良事業補助金		1,318千円	
	補助率：補助対象事業費の2/3			
	上限額：補助対象事業費が原材料費又は機械経費 200千円 補助対象事業費が原材料費と機械経費 300千円			
	(単位：千円)			
	箇所数	事業費	補助金	
峰山町	3	1,475	797	
久美浜町	2	825	521	
合 計	5	2,300	1,318	
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	補助金交付により、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を支持することができた。			
所 管 課	農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業
細 事 業 名	02 小規模農業基盤整備事業			決算書 P.114
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
7,009千円	7,010千円	1千円	99.9 %	3,100千円
目的	老朽化により機能が低下した土地改良施設の改修及び破損した施設の修繕を行うことにより、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。			
主要な事務・事業の概要	安定した農業用水の供給を図るため、破損した取水施設の修繕を行い、素掘り水路からコンクリート水路への更新を行った。また、破損した排水路の改修を行った。 ○工事請負費 7,009千円 ・尾和用水取水施設維持工事 648千円 堆積土砂撤去・埋戻 V=130㎡ ・溝谷排水路改修工事 1,274千円 L型擁壁 L=13.0m ・奥山用水路改修工事 788千円 水路工 L=43.1m ・谷内水門改修工事 4,299千円 小型水門 1基			
主な財源	分担金 小規模基盤整備事業分担金 1,790千円 府補 未来づくり交付金（小規模農業基盤整備経費） 1,300千円			
成果・課題	○機能が低下した土地改良施設の改修及び破損した施設の修繕により、農業経営の安定と施設の保全に資することができた。 ○土地改良施設の老朽化に伴う改修要望が増えていることから、国府の補助事業を積極的に活用し、計画的な施設改修が必要である。			
所 管 課	農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	02国営開発農地維持管理事業																			
細 事 業 名	01 国営丹後土地改良事業負担金			決算書 P.114																			
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																					
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額																			
10,299千円	10,301千円	2千円	99.9 %	10,301千円																			
目 的	国営土地改良事業に係る受益者負担金を規定償還により国に支払う。また、国営開発農地内の市有農地に係る賦課金を丹後土地改良区に支払う。																						
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○国営丹後土地改良事業負担金 10,216千円 平成15年度に完了した国営土地改良事業（丹後東部地区）の受益者から負担金を徴収し、規定償還により国へ償還した。																						
	(参考) 償還期間 市負担金：平成24年度に完済 受益者負担金：平成29年度まで																						
	○丹後土地改良区賦課金 83千円 国営開発事業で整備された施設の維持管理費に充当される賦課金を丹後土地改良区に支払った。																						
	(単位：a、千円) <table><tr><td></td><td>団 地 名</td><td>面 積</td><td>賦課金額</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>三坂団地・大野団地</td><td>93.0</td><td>18</td></tr><tr><td>網野町</td><td>郷団地</td><td>10.0</td><td>2</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>芋野団地・木橋2団地</td><td>313.1</td><td>63</td></tr><tr><td colspan="2">合 計</td><td>416.1</td><td>83</td></tr></table>					団 地 名	面 積	賦課金額	大宮町	三坂団地・大野団地	93.0	18	網野町	郷団地	10.0	2	弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1	63	合 計		416.1
	団 地 名	面 積	賦課金額																				
大宮町	三坂団地・大野団地	93.0	18																				
網野町	郷団地	10.0	2																				
弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1	63																				
合 計		416.1	83																				
主 な 財 源	負担金 国営農地開発事業負担金	5,138千円																					
	負担金 国営農地開発事業負担金滞納繰越分	3,689千円																					
成 果 ・ 課 題	○ 国営土地改良事業負担金を、規定償還により国に支払った。また、国営開発事業で整備された施設の維持管理が図られた。 ○滞納繰越金について、滞納者からの債務承認及び納付誓約書の取得等により、滞納解消を図っていく必要がある。																						
所 管 課	農林水産部／農林整備課																						

予算科目	06農林水産業費 01農業費		10農地費		03多面的機能支払交付金事業													
細事業名	01 多面的機能支払交付金事業					決算書 P.116												
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額														
239,802千円	239,939千円	137千円	99.9 %	265,883千円														
目的	農地、水路等の資源を含む農村環境の保全活動、施設の長寿命化のための活動を行う農業者団体等を支援し、地域主体の保安全管理等の取組の強化・拡大を図る。																	
主要な事務・事業の概要	○多面的機能支払交付金事業活動推進費 3,318千円																	
	事業の推進及び実施状況確認事務に要する経費を支出																	
	・職員手当等（時間外勤務手当、休日勤務手当） 704千円																	
	・賃金（臨時職員2人、10か月分） 1,219千円																	
	・共済費（臨時職員社会保険料） 104千円																	
	・旅費（普通旅費） 57千円																	
	・需用費（消耗品費、リース車燃料代、公用車修繕料） 676千円																	
	・役務費（リース車保険料） 115千円																	
	・使用料及び賃借料（自動車借上料、施設使用料） 443千円																	
	○多面的機能支払交付金 232,980千円																	
農地維持活動と資源向上活動を行う組織に対し、交付金を交付																		
①農地維持支払及び資源向上支払（共同）107組織 130,789千円																		
②資源向上支払（長寿命化）104組織 102,191千円																		
農地維持支払…農業を支える共用設備の基礎的な保全活動を支援																		
資源向上支払（共同）…共用設備の軽微な補修等の共同作業や環境活動を支援																		
資源向上支払（長寿命化）…共用設備の補修・更新等の長寿命化の作業を支援																		
（参考）平成29年度の取組状況																		
<table><tr><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合計</td></tr><tr><td>14組織</td><td>13組織</td><td>12組織</td><td>11組織</td><td>14組織</td><td>45組織</td><td>109組織</td></tr></table>					峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計	14組織	13組織	12組織	11組織	14組織	45組織	109組織
峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合計												
14組織	13組織	12組織	11組織	14組織	45組織	109組織												
※ ①と②の両方の交付を受けているもの 99組織																		
①又は②のどちらかの交付を受けているもの 10組織																		
○過年度府支出金返還金 3,504千円																		
事業期間終了組織の交付金残額及び協定面積の変更に伴う交付金を京都府へ返還したもの																		
主な財源	府補	多面的機能支払交付金（3/4）			177,941千円													
	諸収入	市有自動車損害共済金			25千円													
	諸収入	過年度多面的機能支払交付金返還金			3,504千円													
成果・課題	○活動組織の取り組みにより農業用施設の維持、整備や環境保全の強化等の活動が展開された。 ○高齢化や人材不足により補助申請書類等の作成が困難な場合があり、農業者団体向けの申請等の事務研修の開催や個別相談の実施が必要である。また、平成30年度に活動計画期間が終了することから、組織に対して再認定に向けた支援を行う必要がある。																	
所管課	農林水産部／農林整備課																	

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	50農地一般経費	
細 事 業 名	01 農地一般経費				決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
4,889千円	4,942千円	53千円	98.9 %	5,373千円	
目 的	農業農村整備事業を円滑に推進するための施設管理・研修・支援及び京都府土地改良事業団体連合会への負担金等の一般経費。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	農業農村整備事業を円滑に進めるため、必要な事務を実施するとともに、関係団体へ負担金及び補助金を交付した。 ・賃金（臨時職員1人、11か月分）944千円 ・旅費（会議、職員研修等）47千円 ・需用費（参考図書、コピー代、燃料費等）449千円 ・役務費（自動車損害保険料）15千円 ・使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等）887千円 ・尾和用水路設備管理費負担金882千円 ・全国土地改良大会参加負担金30千円 ・農道台帳管理負担金64千円 ・京都府土地改良事業団体連合会賦課金861千円 ・村前川防潮樋門電気代負担金51千円 ・川崎川防潮樋門電気代負担金67千円 ・久住宮農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金592千円 平成9年度借入分334千円 （借入額：4,213千円、平成34年度完了予定） 平成10年度借入分258千円 （借入額：3,248千円、平成35年度完了予定）				
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	○施設管理・支援事業を行うことで、農業農村整備事業を円滑に推進することができた。 ○地元区の借入金に対して補助金を交付することで、負担軽減を図ることができた。				
所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	03ため池等整備事業	
細 事 業 名	01 ため池等整備事業				決算書 P.116
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
16,500千円	16,500千円	0千円	100.0 %	18,000千円	
目 的	洪水時において引上げ作業が不可能な丹後町大山堰を固定堰から自動倒伏の可動堰へ更新することで、治水及び防災上の危険防止を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	府営ため池等整備事業に対して負担金を支出した。 ○ため池等整備事業負担金 16,500千円 事業費 110,000千円 市負担金 110,000千円 × 12% = 13,200千円 地元負担金 110,000千円 × 3% = 3,300千円 ＜府営事業の主な実施内容＞ 井堰の設置、護岸、護床及び操作室の工事 堰体工 1 門（右岸側） 護床工 414.2㎡（右岸側） 護岸工 79.0m（右岸側） 取水工 5.6m 魚道工 1 式 操作室工 1 式 事業期間：平成24～30年度				
主 な 財 源	分担金	ため池等整備事業分担金			3,300千円
	市債	ため池等整備負担金事業債（合併特例債）			12,500千円
成 果 ・ 課 題	○工事実施に向けた準備を進め、井堰本体を設置する工事を完了することができた。 ○全施設の早期完成に向け京都府と一体となり事業を推進する必要がある。				
所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業競争力強化基盤整備事業
細 事 業 名	01 農業競争力強化基盤整備事業			決算書 P.116
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
46,590千円	46,591千円	1千円	99.9 %	22,039千円
目的	久美浜町女布・丹後町上宇川地区において、ほ場の大区画化と用水路等の改修を実施し、営農労力の節減と収益性の高い農業経営の実現を図る。			
主要な 事務・事業の 概要	府営農業競争力基盤整備事業に対し、負担金を支出した。また、京都府からの委託により、換地処理事務を行った。 【女布地区】 ○換地処理事務に係る経費 996千円 ・換地委員賃金(7人) 262千円 ・換地業務委託料 734千円 ○府営農業競争力強化基盤整備事業負担金 13,100千円 事業費 80,000千円 市負担金 80,000千円 × 10% = 8,000千円 地元負担金 80,000千円 × 7.5% - 900千円(減免) = 5,100千円 ※減免額は文化財調査によるもの 主な実施内容 実施設計業務、埋蔵文化財調査及び揚水機場工事 事業期間 平成26年度～平成31年度 【上宇川地区】 ○換地処理事務に係る経費 13,244千円 ・換地委員賃金(10人) 2,897千円 ・換地業務委託料 10,347千円 ○府営農業競争力強化基盤整備事業負担金 19,250千円 事業費 110,000千円 市負担金 110,000千円 × 10% = 11,000千円 地元負担金 110,000千円 × 7.5% = 8,250千円 主な実施内容 測量及びほ場整備の実施設計業務 事業期間 平成29年度～平成34年度			
主な 財源	分担金	農業競争力強化基盤整備事業分担金	13,350千円	
	府委	換地業務委託金	14,240千円	
	市債	農業競争力強化基盤整備負担金事業債(合併特例債)	18,000千円	
成果・課題	○女布区については、実施設計業務及び埋蔵文化財調査を実施することができた。また、上宇川地区については、事業採択され、府営ほ場整備事業として着手することができた。 ○工事に係る関係調査を早い時期に完了するなど、適切な工事の着手により計画どおり工事を進めていく必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業競争力強化基盤整備事業		
細 事 業 名	02 構造改革促進事業			決算書 P.116		
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
17,651千円	17,654千円	3千円	99.9 %	22,695千円		
目的	基盤整備を契機に、効率的かつ安定的な農業を営む担い手を育成するとともに、担い手への質の高い農用地の利用集積を促進し、生産性の高い農業構造の実現を図る。					
主要な事務・事業の概要	農地利用集積先進地の視察研修を実施するとともに、地域の中心経営体が発実施する基盤整備工事に対して補助金を交付した。					
	○女布地区調査・調整事業			600千円		
	ほ場整備に伴う担い手への農地集積に向けて、土地利用調整活動、土地利用に係る研修を行った。					
	・視察研修旅費			198千円		
	・事務消耗品等			93千円		
	・郵便料			9千円		
	・先進地視察研修バス借上料			300千円		
	＜先進地視察研修の概要＞					
	・視察日：平成29年12月3日（日）～12月4日（月）					
	・視察先：高知県四万十市（道の駅めぐり窪川ほか）					
・参加者：15人（土地改良組合員14人、市職員1人）						
・視察内容：地域農業の現状と課題、農地利用集積 等						
○中心経営体農地集積促進事業 17,051千円						
基盤整備事業実施区域内において、効率的かつ安定的な農業を営む担い手を育成するため、地域の中心経営体への質の高い農地集積の促進を支援した。						
実施主体		中心経営体	実績集積率	総事業費	補助金額	H29交付額
森本中央土地改良組合		京丹後森本アグリ(株)	81.3%	557,115千円	基盤整備事業総工事費の7.5%	17,051千円
※平成28年度補助金交付済額：20,000千円						
主な財源	分担金	構造改革促進事業分担金（1/10）				60千円
	府補	構造改革促進事業補助金（8/10）				480千円
	府補	構造改革促進事業補助金（10/10）				17,051千円
成果・課題	○担い手への農地集積に向けて、土地利用調整活動を行う中で、地域農業の推進体制の強化を図ることができた。 ○担い手への農地集積を円滑に進めるため、地元住民の合意が必要となってくるとともに、ほ場整備の効果を高めるための産地形成に対する継続した支援が必要である。 ○森本地区においては、中心経営体である京丹後森本アグリ(株)に80%以上の農地を集積することができた。					
所 管 課		農林水産部／農業振興課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	02土地改良施設維持管理適正化事業		
細事業名	01 土地改良施設維持管理適正化事業			決算書 P.116		
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
24,393千円	24,394千円	1千円	99.9 %	26,196千円		
目的	造成した事業資金を基に計画的に施設を整備し、老朽化した土地改良施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資する。					
主要な事務・事業の概要	土地改良施設の適正な維持管理により、施設の長期有効利用と持続的な農業経営の安定を図るため、施設の診断指導を実施した。 また、土地改良施設維持管理適正化事業加入地区の事業実施に向け、必要な資金を賦課金として京都府土地改良事業団体連合会に拠出した。 加えて、測量設計等を委託し、1地区の事業加入資料を作成し、俵野地区の畑灌水施設である貯水槽の改修工事を実施した。					
	○土地改良施設診断指導 (単位：か所)					
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	久美浜町	合計
	3	1	2	2	2	10
	○測量設計等委託料				5,551千円	
	小南谷池1号・2号 (弥栄町小田地内)					
	○俵野畑かん施設貯水槽改修工事				15,509千円	
	貯水槽改修 1式					
	排水ゲート 1基					
	○土地改良施設維持管理適正化事業賦課金 (4地区)				3,333千円	
		施設名	支払年度	工事実施年度	拠出額(千円)	
	峰山町	有田池	H29~33	H32	891	
	網野町	浜詰灌水施設	H25~29	H28	660	
	網野町	俵野畑かん施設	H26~30	H28	759	
	網野町	俵野畑かん施設	H28~32	H29	1,023	
主な財源	分担金	土地改良施設維持管理適正化事業分担金	1,616千円			
	諸収入	土地改良施設維持管理適正化事業費補助金	14,950千円			
成果・課題	○測量設計等の実施により、老朽化した施設の事業加入の準備ができた。 ○適正な維持管理を目的に5年以内に整備補修を行う事業であり、計画的な施設整備のため、今後も適正化事業への加入に向けた取組を検討していく必要がある。					
所管課	農林水産部／農林整備課					

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	09宇川地区農業用施設改修事業
細 事 業 名	01 宇川地区農業用施設改修事業			決算書 P.116
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
71,280千円	71,284千円	4千円	99.9 %	73,071千円
目的	施設の老朽化により維持管理が困難な状況であるため、用水路及び取水施設の改修を行うことにより、農地の保全及び農業経営の安定を図る。			
主要な事務・事業の概要	安定した農業用水の供給を図るため、老朽化により通水機能が低下した農業用水路の改修工事を行った。			
	○職員給料及び手当等	649千円		
	○旅費（出張旅費）	10千円		
	○消耗品（事務用品）	51千円		
	○使用料及び賃借料（有料道路通行料）	24千円		
	○工事請負費	70,546千円		
	・尾和用水路改修工事（尾和工区）	L=340m	32,605千円	
	・尾和用水路改修工事（上野工区）	L=332m	31,536千円	
	・尾和用水路改修工事（上野工区その2）	L=56m	6,405千円	
主な財源	国補	防衛施設周辺対策事業補助金（10/10）		71,280千円
成果・課題	○機能低下した施設の改修により、農業経営の安定と農地の保全に資することができた。 ○施設の全面的改修に向け、継続的に事業を実施する必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	10農村地域防災減災事業							
細 事 業 名	01 農村地域防災減災事業				決算書 P.116						
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興									
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額							
6,523千円	19,595千円	13,072千円	33.2 %	24,620千円							
目 的	防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図る。										
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	施設の老朽化により、危険な状態となっているため池について、改修工事を実施するため事業採択に向けて測量業務を行った。また、2地区において、ため池ハザードマップを作成した。										
	○上すべ内池・下すべ内池測量業務 峰山町菅地区			2,948千円							
	○ハザードマップ作成業務委託料 ・ため池安心安全マップ作成業務 大宮町周枳地区 幾坂池、堤谷池 弥栄町鳥取地区 鳥取新ため池			3,575千円							
	<table border="1"><tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>6,524千円</td></tr><tr><td></td><td>実質的な予算執行率</td><td>99.9%</td></tr></table>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,524千円		実質的な予算執行率	99.9%
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,524千円								
	実質的な予算執行率	99.9%									
■平成30年度への繰越事業 上すべ内池・下すべ内池計画策定業務 平成30年7月完成 13,071千円											
主 な 財 源	府補 団体営農村地域防災減災事業補助金 (10/10)				6,510千円						
成 果 ・ 課 題	○地域住民のワークショップにより、ため池災害に備えての被害想定区域や避難場所等を検討することで、地域に即したため池ハザードマップを作成することができた。 ○市内のため池ハザードマップ作成のため、今後も継続的に事業を実施していく必要がある。										
所 管 課	農林水産部／農林整備課										

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	03林業労働者支援事業																							
細 事 業 名	01 林業労働者支援事業				決算書 P.116																						
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																									
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																							
1,096千円	1,097千円	1千円	99.9 %	3,068千円																							
目的	林業労働者の福祉の向上を図るとともに、安全で安心して働き続けられる環境づくりを支援し、林業労働者の確保と地域林業の振興に寄与する。																										
主要な事務・事業の概要	森林組合の作業班員の雇用確保及び定着を図るため、林業労働者の共済事業加入経費及び労働者の就労環境整備に繋がる取組に対して補助金を交付した。																										
	○林業労働者新共済事業補助金				838千円																						
	補助事業：長期 市1/4 退職金助成・組合助成 府1/2、市1/2																										
	補助対象：京都府林業労働支援センター																										
	補助単価：長期 205円/日、退職金助成 45円/日、組合助成 25円/日																										
	(単位：日、千円)																										
	<table><tr><td>区 分</td><td>就労実人数</td><td>延日数</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>長期事業</td><td>15人</td><td>3,036</td><td>2,490</td><td>622</td></tr><tr><td>退職金助成事業</td><td rowspan="2">1団体</td><td rowspan="2">3,074</td><td rowspan="2">1,445</td><td>139</td></tr><tr><td>組合助成事業</td><td>77</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td></td><td>3,935</td><td>838</td></tr></table>					区 分	就労実人数	延日数	事業費	補助金	長期事業	15人	3,036	2,490	622	退職金助成事業	1団体	3,074	1,445	139	組合助成事業	77	合 計			3,935	838
	区 分	就労実人数	延日数	事業費	補助金																						
	長期事業	15人	3,036	2,490	622																						
	退職金助成事業	1団体	3,074	1,445	139																						
組合助成事業	77																										
合 計			3,935	838																							
○緑の担い手育成事業補助金				258千円																							
補助事業：新規就労者支援・就労環境改善支援 3/4以上 (市1/4、府1/2)																											
※事業費が林業労働者の前年度総賃金の16.5/1000を超えない場合は、事業費と同額を補助 (前年度総賃金：49,419千円×16.5/1,000=815千円)																											
補助対象：丹後地区森林組合																											
事業内訳：林業労働者の教育・訓練 (車両系木材伐出機械特別教育) 林業労働者の労働安全 (定期健康診断、振動病健診、一般損害保険)																											
(単位：千円)																											
<table><tr><td>区 分</td><td>事業費</td><td>補助金</td></tr><tr><td>就労環境改善支援事業</td><td>258</td><td>258</td></tr></table>					区 分	事業費	補助金	就労環境改善支援事業	258	258																	
区 分	事業費	補助金																									
就労環境改善支援事業	258	258																									
主な財源	府補	林業労働者新共済事業費補助金 (1/2)			107千円																						
	府補	緑の担い手育成事業費補助金 (2/3)			172千円																						
成果・課題	○林業労働者の確保及び地域林業の振興に寄与できた。 ○森林の維持管理を担う森林組合の基幹的作業員の共済事業加入経費を支援し福祉の向上を図ることができた。 ○林業に従事する労働者は高齢化してきており、若年者の安定的な確保が課題である。																										
所 管 課		農林水産部／農林整備課																									

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業																					
細 事 業 名	01 有害鳥獣捕獲事業			決算書 P.118																					
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																							
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額																					
82,371千円	82,587千円	216千円	99.7 %	86,561千円																					
目 的	有害鳥獣を捕獲することで、野生鳥獣による農作物被害、営農意欲の低下、生活環境の悪化及び人身への危害を未然に防止する。																								
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	有害鳥獣を捕獲するため猟友会に業務を委託するとともに、鳥獣被害対策実施隊を編成し、広域捕獲事業、緊急捕獲対策事業（国）及びシカ捕獲強化事業（府）と一体化して取り組んだほか、狩猟免許取得の支援を行い、捕獲班員の確保を図った。 また、有害鳥獣の捕獲及び個体処理施設に係る検討会議や被害確認等を行った。 ○鳥獣被害対策実施隊員報酬（41人） 516千円 ○報償費 2,212千円 ・シカ捕獲奨励金（81人） 2,155千円 ・個体処理検討委員会委員謝金（3人、視察1回、会議3回） 57千円 ○事務経費等 521千円 ・費用弁償、出張旅費（個体処理施設視察等） 71千円 ・サル餌、公用車燃料代、車検代等 396千円 ・自動車保険料 38千円 ・有料道路使用料 16千円 ○有害鳥獣捕獲委託料 77,549千円 <table><tr><td>捕獲実績</td><td>イノシシ</td><td>シカ</td><td>サル</td><td>小動物</td><td>鳥類</td><td>合計</td></tr><tr><td>H29</td><td>1,426</td><td>3,319</td><td>4</td><td>234</td><td>394</td><td>5,377</td></tr><tr><td>H28</td><td>1,824</td><td>3,271</td><td>19</td><td>227</td><td>91</td><td>5,432</td></tr></table> ○京丹後市野生鳥獣被害対策協議会負担金 833千円 ○捕獲班員支援の補助金 740千円 ・狩猟免許取得奨励（補助交付者：4人）1/2補助 36千円 ・猟銃所持許可更新手数料（補助交付者：13人）1/2補助 104千円 ・猟銃購入費補助（補助交付者：4人）1/2補助 600千円				捕獲実績	イノシシ	シカ	サル	小動物	鳥類	合計	H29	1,426	3,319	4	234	394	5,377	H28	1,824	3,271	19	227	91	5,432
捕獲実績	イノシシ	シカ	サル	小動物	鳥類	合計																			
H29	1,426	3,319	4	234	394	5,377																			
H28	1,824	3,271	19	227	91	5,432																			
主 な 財 源	手数料	有害鳥獣捕獲班員証明手数料、有害鳥獣捕獲等参加証明手数料 13千円																							
府補	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金（定額）	28,150千円																							
府補	有害鳥獣捕獲関係事業費補助金（1/2）	19,192千円																							
府補	丹後地域広域有害鳥獣捕獲事業委託料（定額）	459千円																							
市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	800千円																							
成 果 ・ 課 題	○イノシシ、シカ等を5,000頭以上捕獲したことや、サルの個体数調整（捕獲）の進展により、農作物の被害額全体では前年対比で約26.7%減少した。 ○前年対比で捕獲班員が9人増加し、シカの捕獲頭数は若干増加したが、全体的には捕獲班員の高齢化、捕獲頭数の減少傾向が見られるため、引き続き捕獲班員の育成・確保が必要であるとともに、個体処理施設整備の早期の具体化を検討する必要がある。																								
所 管 課	農林水産部／農林整備課																								

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業
細 事 業 名	02 有害鳥獣防除事業			決算書 P.118
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額
1,335千円	1,401千円	66千円	95.2 %	1,571千円
目 的	サルの群れの行動圏調査や集落ぐるみの追払対策を支援し、サルによる農作物や生活環境被害、人身被害の拡大を防止する。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	調査隊を編成し、市が取り組むサルの個体数調整（群れ単位の捕獲）に必要な群れの行動圏調査を実施するとともに、追払資材を地区へ支給し、集落ぐるみの追払対策を支援した。 ○追払用資材（花火、モデル銃弾） 78千円 ○サル行動調査業務委託料 1,257千円 委託先：京丹後市シルバー人材センター 委託期間：平成29年4月3日～平成30年3月30日 業務内容：サルの行動圏調査及び被害状況調査を月10回行う。 実施地域：丹後町内（豊栄、竹野、上宇川、下宇川）			
主 な 財 源	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）		1,000千円
成 果 ・ 課 題	追払対策を継続実施することにより、サルの出没頻度や集落での滞在時間の拡大防止につながったが、追い払いができていない集落もあるため、引き続き集落ぐるみでの追払対策の指導、支援を行う必要がある。			
所 管 課	農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業																
細 事 業 名	04 猪・鹿肉処理施設運営管理事業			決算書 P.118																
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																
11,430千円	11,482千円	52千円	99.5 %	11,312千円																
目的	捕獲したイノシシ、シカを地域資源として活用するとともに、捕獲者の個体処理労力の低減を図る。																			
主要な事務・事業の概要	猪、鹿肉処理施設「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の運営委託及び施設の維持管理を行った。																			
	○施設運営費 11,430千円																			
	・旅費（販売促進） 110千円																			
	・消耗品費、公用車燃料代 614千円																			
	・電気代 1,510千円																			
	・施設備品等修繕料 243千円																			
	・電話通話料 113千円																			
	・貯水槽保守点検手数料、浄化槽法定検査手数料等 161千円																			
	・火災保険料、自動車保険料 23千円																			
	・運営管理業務委託料 7,960千円																			
・浄化槽維持管理委託料、金属検出機保守点検委託料等 579千円																				
・施設用地賃借料 105千円																				
・清掃用具借上料 12千円																				
＜イノシシ、シカ処理頭数＞																				
(単位：頭)																				
<table><tr><td>区 分</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr><tr><td>イノシシ</td><td>125</td><td>127</td><td>77</td></tr><tr><td>シカ</td><td>649</td><td>558</td><td>804</td></tr><tr><td>合 計</td><td>774</td><td>685</td><td>881</td></tr></table>					区 分	H27	H28	H29	イノシシ	125	127	77	シカ	649	558	804	合 計	774	685	881
区 分	H27	H28	H29																	
イノシシ	125	127	77																	
シカ	649	558	804																	
合 計	774	685	881																	
主な財源	諸収入	猪・鹿肉精肉販売代金	3,281千円																	
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）	6,200千円																	
成果・課題	○881頭のイノシシ、シカを搬入することで、有害鳥獣捕獲事業の課題となっている個体埋設作業の負担軽減ができた。 ○コースなど高価格帯商品は、搬入個体の状態により商品化が難しく全体の販売額に影響を与えるため、処理作業の負担軽減を考慮しながら、搬入個体の選別を行なう必要がある。																			
所 管 課	農林水産部／農林整備課																			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	50林業総務一般経費
細 事 業 名	01 林業総務一般経費			決算書 P.118
総 合 計 画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
791千円	835千円	44千円	94.7 %	786千円
目的	木育等に必要な事務経費及び各種林業関連団体への負担金を支出し、森林・木材と市民が関わり合える環境づくりや林業振興の推進を図る。			
主要な事務・事業の概要	林業振興推進業務に必要な経費及び各種林業関連団体への負担金等を支出した。 ○旅費 36千円 ○消耗品費 183千円 ○有料道路通行料 9千円 ○京都府林業振興会会費及び負担金 515千円 ○京都府府有林事業支障木売払いに係る分収金支払い 48千円			
主な財源	諸収入 京都府府有林事業収入 48千円 諸収入 木工教室参加料 4千円			
成果・課題	○事務の適切な執行により、林業振興の推進に寄与できた。 ○市内の林業関係者が連携した「木育ネットワーク」により、各種イベント及び木工教室を実施し、木材利用の普及推進及び情報交流の場を提供できた。			
所 管 課	農林水産部／農林整備課			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	01緑の公共事業		
細 事 業 名	02 森林適正整備推進事業			決算書 P.118		
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額		
2,117千円	2,117千円	0千円	100.0%	5,060千円		
目的	高齢級人工林の間伐実施を支援することにより、林木の健全な生長を促すとともに、森林の公益的機能の維持・増進を図る。					
主要な 事務・事業の 概要	国・府の造林補助金（森林整備費補助金）の対象とならない高齢級（36～60年生）人工林の間伐事業に対して、補助金を交付した。					
	○森林適正整備推進事業費補助金			2,117千円		
	補助率：京都府 1/2、市 1/10					
	事業実施主体：丹後地区森林組合					
	区 分	実施箇所	工 種	事業量	事業費	補助金
	私有林	5か所	間伐	7.79ha	3,528千円	2,117千円
			間伐材搬出	206㎡		
	<実施箇所内訳>					
	工 種	町別	箇所数	事業量	事業費	
	間伐	峰山町	1か所	1.74ha	466千円	
大宮町		1か所	1.05ha	281千円		
網野町		2か所	2.32ha	621千円		
弥栄町		1か所	2.68ha	718千円		
計		5か所	7.79ha	2,086千円		
間伐材搬出	峰山町	1か所	21㎡	147千円		
	網野町	2か所	185㎡	1,295千円		
計		3か所	206㎡	1,442千円		
主な 財源	府補	緑の公共事業費補助金（1/2）			1,763千円	
成果・課題	○高齢級の人工林（私有林）の間伐実施を支援することにより、森林の適正な整備が進められた。 ○補助事業の周知を積極的に行い、間伐実施による林木の健全な生長を促すとともに、森林の公益的機能の維持増進を図っていく必要がある。					
所 管 課		農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	01緑の公共事業																		
細 事 業 名	03 放置竹林拡大防止事業			決算書 P.118																		
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																				
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額																		
1,137千円	1,139千円	2千円	99.8 %	1,139千円																		
目 的	人工林等に侵入した竹の伐採等により、森林の有する多面的機能の維持増進を図る。 また、伐採竹を資材として利用することで資源の有効活用を図る。																					
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	放置竹林による森林侵食を防ぐため、森林に侵入した竹林の伐採を行うとともに、伐採竹の有効活用（竹肥、竹炭）を図るため搬出を行った。 ○放置竹林拡大防止工事 1,137千円 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">実施箇所</th><th colspan="2">事 業 量</th><th rowspan="2">事業費</th></tr> <tr> <th>整理伐</th><th>竹材搬出</th></tr> <tr> <td>大宮町三重地内</td><td>0.14ha</td><td>700本</td><td>558千円</td></tr> <tr> <td>大宮町三坂地内</td><td>0.13ha</td><td>744本</td><td>579千円</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>0.27ha</td><td>1,444本</td><td>1,137千円</td></tr> </table>				実施箇所	事 業 量		事業費	整理伐	竹材搬出	大宮町三重地内	0.14ha	700本	558千円	大宮町三坂地内	0.13ha	744本	579千円	合 計	0.27ha	1,444本	1,137千円
	実施箇所	事 業 量		事業費																		
		整理伐	竹材搬出																			
	大宮町三重地内	0.14ha	700本	558千円																		
大宮町三坂地内	0.13ha	744本	579千円																			
合 計	0.27ha	1,444本	1,137千円																			
主 な 財 源	府補	緑の公共事業費補助金（1/2）		568千円																		
成 果 ・ 課 題	竹による森林侵食を防止するとともに、伐採竹の資源としての有効活用（竹炭）が図れた。																					
所 管 課	農林水産部／農林整備課																					

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	02松くい虫防除事業	
細事業名	01 松くい虫防除事業				決算書 P.118
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額	
7,315千円	7,315千円	0千円	100.0%	7,349千円	
目的	海岸松林を松くい虫被害から守り、海岸沿い防風林等の機能確保及び風致景観等の保全を図る。				
主要な事務・事業の概要	海岸沿いの防風林（網野町、丹後町、久美浜町）の機能確保及び風致景観等の保全を図るため、無人ヘリコプターによる薬剤散布、樹幹注入、当年枯れの松の焼却駆除を行った。また、海岸松林の被害状況及び樹幹注入保全対象松を把握するため毎木調査を実施した。				
	○消耗品費（樹幹注入表示板：500枚）				16千円
	○調査業務（委託先：丹後地区森林組合）				233千円
		実施箇所	本数	委託料	
	被害木毎木調査	網野町浜詰 丹後町間人・平・上野	247本	157千円	
	樹幹注入毎木調査	網野町掛津・三津 久美浜町湊宮	234本	76千円	
	○防除事業（委託先：丹後地区森林組合）				7,066千円
		実施箇所	面積・本数	備考	委託料
	奨励・春期：薬剤散布	網野町掛津・遊・浜詰	14.0ha		1,588千円
	松林健全化促進事業・秋期：樹幹注入	網野町掛津・三津 久美浜町湊宮	234本	薬剤本数 1,484本	4,432千円
奨励・秋期：特別伐倒 駆除	網野町浜詰 丹後町間人・平・上野	247本	材積 30.3m ³	1,046千円	
※府補助率：（奨励・松林健全化促進事業：3/4以内）					
主な財源	府補 松くい虫駆除防除事業補助金				5,298千円
成果・課題	○予防作業として無人ヘリコプターによる薬剤散布や樹幹注入を行うなど、松くい虫被害の蔓延防止ができた。 ○今後も異常気象により広範囲にわたって大きな被害が出ることが懸念されるため、松くい虫被害木の適切な処理を行っていく必要がある。				
所管課	農林水産部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業		
細事業名	01 森林作業道開設事業				決算書 P.118	
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額		
1,277千円	1,277千円	0千円	100.0%	2,000千円		
目的	作業道開設に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図り、健全な森林の造成、多面的機能の増進、森林の有効利用を図る。					
主要な事務・事業の概要	森林組合が森林所有者から受託して実施する作業道の開設に対し、補助金を交付した。					
	○森林作業道開設補助金				1,277千円	
	補助率：国、京都府の森林整備事業における査定経費の50%以内					
	・森林環境保全直接支援事業				642千円	
	(単位：m、千円)					
	実施箇所	路線名	延長	幅員	事業費	補助金
	久美浜町佐野甲地内	小牛谷線外 2路線	1,993	3.0	13,294	642
	事業実施主体：丹後地区森林組合					
	・森林施業省力化促進事業				635千円	
	(単位：m、千円)					
	実施箇所	路線名	延長	幅員	事業費	補助金
	網野町中立地内	滝上線	550	2.5	1,269	635
	事業実施主体：丹後地区森林組合					
主な財源						
成果・課題	○森林施業路開設を希望する受益者の負担軽減を図りながら、間伐等の施業が推進できた。 ○施業路の開設場所により開設費や維持管理費、間伐作業に要する費用が変わってくることから、効率的・計画的な施業路開設と効率的な間伐作業を行うため、当初計画時に現場の状況を確認に調査し、施業路の開設箇所を適切に選定する必要がある。					
所管課	農林水産部／農林整備課					

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業																
細事業名	02 間伐施業事業			決算書 P.118																
総合計画	計画項目 2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																			
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額																
1,633千円	1,634千円	1千円	99.9 %	2,500千円																
目的	間伐等に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図り、森林整備の促進と豊かな自然環境の保全を図る。																			
主要な事務・事業の概要	森林組合が森林所有者から受託して実施する間伐等に対し補助金を交付した。 ○間伐施業事業補助金 1,633千円 補助率：国、京都府の森林整備事業における査定経費の20%以内 ・森林環境保全直接支援事業 1,512千円 (単位：ha、千円) <table border="1"> <tr> <th>実施箇所</th> <th>面積</th> <th>事業費</th> <th>補助金</th> </tr> <tr> <td>久美浜町佐野甲地内</td> <td>13.44</td> <td>8,430</td> <td>1,512</td> </tr> </table> 事業実施主体：丹後地区森林組合 ・間伐対策事業 121千円 (単位：ha、千円) <table border="1"> <tr> <th>実施箇所</th> <th>面積</th> <th>事業費</th> <th>補助金</th> </tr> <tr> <td>久美浜町佐野甲地内</td> <td>1.61</td> <td>804</td> <td>121</td> </tr> </table> 事業実施主体：丹後地区森林組合				実施箇所	面積	事業費	補助金	久美浜町佐野甲地内	13.44	8,430	1,512	実施箇所	面積	事業費	補助金	久美浜町佐野甲地内	1.61	804	121
実施箇所	面積	事業費	補助金																	
久美浜町佐野甲地内	13.44	8,430	1,512																	
実施箇所	面積	事業費	補助金																	
久美浜町佐野甲地内	1.61	804	121																	
主な財源																				
成果・課題	○間伐等の促進により健全な森林の造成、多面的機能の増進に寄与した。 ○木材価格の低迷により、林業の採算性が低下している中、山の手入れをしない森林所有者が多くなっている。効率的・計画的な施業路の設定など、間伐作業等が効率的に行えるよう努め、森林所有者の負担軽減を図り、間伐等を促進する必要がある。																			
所管課	農林水産部／農林整備課																			

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	04森林研究・整備機構分収造林事業												
細事業名	01 森林研究・整備機構分収造林事業			決算書 P.118												
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考)当初予算額												
997千円	998千円	1千円	99.8 %	0千円												
目的	森林研究・整備機構分収林事業（布袋野団地）において、平成29年度事業による造林木の販売に係る分収金を覚書に基づき地元区に支払うもの。															
主要な事務・事業の概要	市（土地所有者）、森林研究・整備機構（造林費負担者）及び丹後地区森林組合（造林者）の3者で契約している造林地の保育施業に伴い、発生した造林木販売分収金（売払収益）を地元（実質土地所有者）へ補償金として支出した。 ○補償金（伐採造林木販売分収金） 997千円 ・分収造林契約における分収割合 森林研究・整備機構：40% 丹後地区森林組合：10% 京丹後市：50% <販売数量等> (単位：本、㎡、千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>樹種</th> <th>素材数</th> <th>素材材積</th> <th>収益分収対象額</th> <th>補償金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スギ、ヒノキ</td> <td>4,062</td> <td>538</td> <td>1,994</td> <td>997</td> <td>素材販売</td> </tr> </tbody> </table> ※覚書により、市が受けた分収金は全額地元へ引き渡す。				樹種	素材数	素材材積	収益分収対象額	補償金額	備考	スギ、ヒノキ	4,062	538	1,994	997	素材販売
樹種	素材数	素材材積	収益分収対象額	補償金額	備考											
スギ、ヒノキ	4,062	538	1,994	997	素材販売											
主な財源	諸収入	森林研究・整備機構分収造林事業収入		997千円												
成果・課題	適切な事業の実施により、山林の財産形成及び保安林機能の確保につながった。															
所管課	農林水産部／農林整備課															

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	05市行造林事業																
細 事 業 名	01 市行造林事業				決算書 P.118															
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額																
768千円	768千円	0千円	100.0 %	1,879千円																
目 的	計画的な保育施業を実施し、市行造林地内における植栽木の財産造成と森林機能の確保を図る。																			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	市行造林契約地において、分収契約に基づき、計画的に保育施業を実施した。																			
	○保育施業工事 768千円																			
	植林木の生長を促進させるための間伐及び獣害対策として樹皮剥ぎ防止テープの取付け作業を行った。																			
	(単位：ha、千円)																			
	<table><tr><td>工 種</td><td>実施箇所</td><td>事業量</td><td>金 額</td></tr><tr><td>樹皮剥ぎ防止テープ</td><td>網野町中立</td><td>1.91</td><td>185</td></tr><tr><td>保育間伐・枝打ち</td><td>弥栄町芋野</td><td>1.69</td><td>583</td></tr><tr><td>合 計</td><td></td><td>3.60</td><td>768</td></tr></table>					工 種	実施箇所	事業量	金 額	樹皮剥ぎ防止テープ	網野町中立	1.91	185	保育間伐・枝打ち	弥栄町芋野	1.69	583	合 計		3.60
工 種	実施箇所	事業量	金 額																	
樹皮剥ぎ防止テープ	網野町中立	1.91	185																	
保育間伐・枝打ち	弥栄町芋野	1.69	583																	
合 計		3.60	768																	
主 な 財 源	府補	森林整備補助金			691千円															
成 果 ・ 課 題	造林地の保育施業を計画的に行うことにより、植林木の生長を促進し、財産価値を確保するとともに、地球温暖化防止など、森林の多面的機能の確保に寄与した。																			
所 管 課	農林水産部／農林整備課																			

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業	
細 事 業 名	01 小規模林道整備事業補助金				決算書 P.118
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考)当初予算額	
824千円	1,100千円	276千円	74.9%	1,100千円	
目 的	地元営小規模林道整備事業に係る機械借上費、原材料費について支援を行い、林道の適正な維持管理・保全を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	各地区が実施する林道の小規模な整備事業（維持管理及び保全）に係る機械借上費や原材料費に対して補助金を交付した。				
	○小規模林道整備事業支援補助金				824千円
	補助率：補助対象事業費の10/10				
	上限額：補助対象経費が原材料費又は機械経費 200千円 補助対象経費が原材料費と機械経費 300千円				
	<内訳>				
	(単位：千円)				
		箇所数	補助金額		
	弥栄町	1	200		
	久美浜町	4	624		
	合 計	5	824		
主 な 財 源					
成 果 ・ 課 題	○地元自治会が行う林道等の整備に対して、資材等を支援することで、早期に原状回復が図られ林道の適正な維持管理と保全ができた。 ○高齢化の進行により、将来的に林道の適正な維持管理が困難になることが予想されることから、今後の対策を検討する必要がある。				
所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業	
細 事 業 名	02 林道等整備事業				決算書 P.118
総 合 計 画	計 画 項 目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
7,959千円	7,971千円	12千円	99.8 %	10,718千円	
目 的	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内作業を容易にするため、林道の適切な維持管理を行う。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	森林の活用と保全のために必要な林道等の適正な維持管理（草刈、修繕）及び損傷箇所の改良工事を実施した。 ○消耗品費（製図支援ソフトバージョンアップソフト） 32千円 ○修繕料 290千円 ・林道（大鼓山線）修繕 ○委託料 7,637千円 ・丹後縦貫林道維持管理業務 6,792千円 （大鼓山線、大内線、成相線、奥寄線） ・公共土木積算システム保守管理 845千円				
主 な 財 源	負担金 丹後縦貫林道維持管理負担金				1,277千円
成 果 ・ 課 題	森林整備を行うために必要な林道の適正な維持管理を行い、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに、通行車両等の安全を確保することができた。				
所 管 課	農林水産部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	08豊かな森を育てる事業	210																																											
細事業名	01 豊かな森を育てる事業				決算書 P.118																																											
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興																																														
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																												
15,015千円	15,016千円	1千円	99.9%	10,312千円																																												
目的	「京都府豊かな森を育てる府民税」を財源とした交付金を活用し、森林の公益的機能の維持増進を図るとともに、府内産材の積極的な利用を図る。																																															
主要な事務・事業の概要	植林木の生長促進のため間伐を行うとともに、間伐材の有効利用のため、作業路を開設して間伐材の搬出を行った。また、森林整備を進めるための事業、木材の利用促進につながる事業に対し補助金を交付した。 ○保育施業工事 7,776千円 <table> <tr> <th>実施箇所</th><th>工 種</th><th>事業量</th><th>金 額</th></tr> <tr> <td rowspan="3">網野町溝野</td><td>間伐・枝打ち</td><td>6.04ha</td><td rowspan="3">7,776千円</td></tr> <tr> <td>作業道開設</td><td>1,337m</td></tr> <tr> <td>間伐材搬出</td><td>81.46t</td></tr> </table> ○丹後王国「食のみやこ」生き物探検の森整備事業 3,611千円 <table> <tr> <th>事 業</th><th>工 種</th><th>事業量</th><th>金 額</th></tr> <tr> <td rowspan="2">環境林整備</td><td>間伐、刈払い</td><td>3.38ha</td><td rowspan="2">2,876千円</td></tr> <tr> <td>歩道整備</td><td>506m</td></tr> <tr> <td rowspan="2">案内板等設置</td><td>木製案内看板設置</td><td>4基</td><td>639千円</td></tr> <tr> <td>散策路誘導看板設置</td><td>3基</td><td>96千円</td></tr> </table> ○豊かな森を育てる事業補助金 3,628千円 ・間伐材搬出補助（補助率3/5、上限3千円/t） <table> <tr> <th>交付件数</th><th>搬出量</th><th>事業費</th><th>補助金額</th></tr> <tr> <td>2件</td><td>1,026 t</td><td>6,579千円</td><td>3,078千円</td></tr> </table> ・教育・研修活動補助（補助率10/10、上限50千円） <table> <tr> <th>交付件数</th><th>事業費</th><th>補助金額</th></tr> <tr> <td>13件</td><td>641千円</td><td>550千円</td></tr> </table>					実施箇所	工 種	事業量	金 額	網野町溝野	間伐・枝打ち	6.04ha	7,776千円	作業道開設	1,337m	間伐材搬出	81.46t	事 業	工 種	事業量	金 額	環境林整備	間伐、刈払い	3.38ha	2,876千円	歩道整備	506m	案内板等設置	木製案内看板設置	4基	639千円	散策路誘導看板設置	3基	96千円	交付件数	搬出量	事業費	補助金額	2件	1,026 t	6,579千円	3,078千円	交付件数	事業費	補助金額	13件	641千円	550千円
	実施箇所	工 種	事業量	金 額																																												
	網野町溝野	間伐・枝打ち	6.04ha	7,776千円																																												
		作業道開設	1,337m																																													
		間伐材搬出	81.46t																																													
	事 業	工 種	事業量	金 額																																												
	環境林整備	間伐、刈払い	3.38ha	2,876千円																																												
		歩道整備	506m																																													
	案内板等設置	木製案内看板設置	4基	639千円																																												
		散策路誘導看板設置	3基	96千円																																												
交付件数	搬出量	事業費	補助金額																																													
2件	1,026 t	6,579千円	3,078千円																																													
交付件数	事業費	補助金額																																														
13件	641千円	550千円																																														
主な財源	府補 豊かな森を育てる府民税市町村交付金（10/10） 13,351千円 繰入金 豊かな森を育てる基金繰入金 1,664千円																																															
成果・課題	○造林地の保育施業を計画的に行うことにより、植林木の生長を促進し、財産価値を確保するとともに、森林の多面的機能の確保に寄与した。また、丹後王国「食のみやこ」の森を気軽に森林散策ができる里山に近い環境に整備することができた。 ○木材の利用促進のため、間伐材の搬出経費への支援により間伐材がチップ材として有効活用された。また、保育所保護者会等への木製品等導入支援により、木や森への親しみを深めてもらう機会を増やすことができた。																																															
所管課	農林水産部／農林整備課																																															

予 算 科 目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	08豊かな森を育てる事業						
細 事 業 名	02 豊かな森を育てる基金			決算書 P.118						
総合計画	計画項目	2 6次産業化・ブランド化で農林業を振興								
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考)当初予算額						
415千円	415千円	0千円	100.0 %	0千円						
目 的	豊かな森を育てる府民税市町村交付金の残余金を翌年度以降に活用することを目的とした豊かな森を育てる基金への積立金									
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○豊かな森を育てる基金積立金			415千円						
	<table><tr><td>府民税市町村交付金① (府支出金)</td><td>事業財源充当額②</td><td>差引額 (①-②) (基金積立額)</td></tr><tr><td>10,154,000円</td><td>9,739,586円</td><td>414,414円</td></tr></table>				府民税市町村交付金① (府支出金)	事業財源充当額②	差引額 (①-②) (基金積立額)	10,154,000円	9,739,586円	414,414円
	府民税市町村交付金① (府支出金)	事業財源充当額②	差引額 (①-②) (基金積立額)							
	10,154,000円	9,739,586円	414,414円							
	(参考) 基金の状況 (単位：千円)									
平成28年度末 現 在 高 ①	平成29年度中増減額			平成29年度末 現 在 高 ①-②+(③+④)						
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④							
1,664	1,664	0	415	415						
主 な 財 源	府補 豊かな森を育てる府民税市町村交付金			415千円						
成 果 ・ 課 題										
所 管 課	総務部／財政課									

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	01水産業総務費	50水産業総務一般経費
細 事 業 名	01 水産業総務一般経費			決算書 P.118
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
2,865千円	3,001千円	136千円	95.4 %	1,364千円
目 的	施設等の適切な維持管理と、水産関係団体への活動支援により、水産業の円滑な推進及び水産振興を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	水産業を円滑に推進するために必要な施設・公用車等の維持管理経費及び水産関係団体への負担金・補助金を支出した。 ○旅費 42千円 ・会議等職員旅費 ○需用費 1,572千円 ・事務消耗品費、公用車燃料代、公用車車検・修繕料 368千円 ・久美浜栽培漁業センター光熱水費、取水ポンプ修繕料 1,204千円 ○役務費 79千円 ・公用車車検代行手数料 19千円 ・公用車自賠責保険料、建物共済・公用車共済分担金 60千円 ○委託料 322千円 ・間人漁港漂着船解体・運搬 ○使用料及び賃借料 328千円 ・有料道路通行料 4千円 ・積算システムソフトウェア使用料 324千円 ○備品購入費 89千円 ・積算システム用パソコン 1台 ○負担金、補助及び交付金 425千円 ・京都府海の民学舎負担金 270千円 ・京都府漁港漁場協会負担金 125千円 ・京都府漁業士会補助金 30千円 ○公課費 8千円 ・公用車重量税			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○「海の民学舎」の運営をはじめ、水産関係団体の活動を支援することで、新規漁業就業者や中核的担い手の育成事業、要望・研修活動等が活発に展開され、漁業振興に寄与することができた。 ○公共施設見直し計画に基づき、久美浜栽培漁業センターを移譲するため、関係団体と協議を継続していく。			
所 管 課	農林水産部／海業水産課			

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	01水産業総務費	50水産業総務一般経費
細事業名	01 水産業総務一般経費（繰越）			決算書 P.118
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 ②-①	執行率	(参考) 当初予算額
3,987千円	4,899千円	912千円	81.3 %	4,899千円
目的	施設等の適切な維持管理により、水産業の円滑な推進及び水産振興を図る。			
主要な事務・事業の概要	旭漁港内に設置の「クロアワビ試験養殖施設」について、平成29年1月20日発生の突風により一部が損壊し、また、老朽化も著しく、継続利用することが困難なため撤去した。 ○旭漁港クロアワビ試験養殖施設撤去工事 3,987千円 試験養殖施設（コンテナ）撤去 3基 取水施設撤去 1式 取排水管撤去（水中） 128.1m 取排水管撤去（陸上） 50m			
主な財源				
成果・課題	漁港機能と周辺住民の生活環境の保全が図られた。			
所管課	農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	01内水面漁業振興支援事業	
細 事 業 名	01 内水面漁業振興支援事業			決算書 P.120	
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 ②-①	執 行 率	(参考) 当初予算額	
1,319千円	1,324千円	5千円	99.6 %	1,149千円	
目 的	内水面漁業協同組合が実施する種苗放流事業を継続的に支援し、河川等の水産資源の増殖・確保により、内水面漁業の振興を図る。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	野間川、宇川及び離湖における自然環境の保全と水産資源の増殖・確保を目的とした種苗放流事業に要する種苗購入費に対して、補助金を交付した。				
	○河川種苗放流事業補助金（補助対象事業費の2/3以内の額）			1,319千円	
	実施団体	野間漁業協同組合	上宇川漁業協同組合	京都府漁業協同組合 網野支所	
	放流場所	野間川	宇 川	離 湖	
	補助対象事業費	1,544千円	564千円	127千円	
	補助金	907千円	337千円	75千円	
	放 流 魚 種	アユ	39,700尾	17,000尾	—
		ウナギ	400尾	—	300尾
		マス類	5,000尾	—	—
		フナ	—	—	1,500尾
組合員数	61人	41人	内水面のみ 48人		
主 な 財 源	府補 内水面漁業振興対策事業費補助金（1/3以内）			638千円	
成 果 ・ 課 題	○種苗放流事業の継続的支援により、自然環境の保全と河川資源の維持・増殖が図られ、水辺のレジャーの振興及び漁業活動の安定に寄与できた。 ○漁業協同組合員の減少と高齢化が進行しており、魚道を含む河川の漁場管理が困難になってきているため、組合員と地域住民等が連携して漁場環境保全・修復や資源増殖に取り組む体制づくりが必要である。				
所 管 課	農林水産部／海業水産課				

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	02漁業振興支援事業		
細事業名	01 漁業振興支援事業				決算書 P.120	
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興				
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額		
1,301千円	1,393千円	92千円	93.3 %	1,393千円		
目的	水産資源の増殖・確保のための種苗放流及びヒラメの中間育成を支援し、漁業者の経営安定と所得向上を図る。					
主要な事務・事業の概要	府漁協が実施するアワビ・サザエ等の種苗放流事業及びヒラメの中間育成事業に対して補助金を交付した。					
	○種苗放流事業補助金（補助対象事業費の1/2以内の額）				1,178千円	
	実施団体	府漁協丹後支所	府漁協網野支所	府漁協湊支所		
	放流場所	日本海	日本海	日本海・久美浜湾		
	補助対象事業費	614千円	739千円	1,151千円		
	補助金	285千円	318千円	575千円		
	放流魚貝種	アワビ	10,000個	9,100個	—	
		サザエ	9,900個	17,600個	33,700個	
		クロダイ	—	—	17,000尾	
		ハマグリ	—	—	340kg	
○中間育成事業補助金（補助対象事業費の2/3以内の額）					123千円	
実施団体	府漁協湊支所					
実施場所	久美浜栽培漁業センター					
放流場所	久美浜湾					
補助対象事業費	186千円					
補助金	123千円					
対象魚種	ヒラメ 5,500尾					
主な財源						
成果・課題	種苗放流事業及び中間育成（ヒラメ）事業を継続的に実施することで、安定した漁業生産活動の確保に寄与できた。					
所管課	農林水産部／海業水産課					

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	02漁業振興支援事業
細事業名	01 漁業振興支援事業（繰越）			決算書 P.120
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
58,266千円	58,266千円	0千円	100.0 %	58,266千円
目的	漁獲物の高鮮度化のための自動製氷施設の導入を支援し、漁業者の経営安定と所得向上を図る。			
主要な事務・事業の概要	府漁協が、漁業者の製氷購入経費の低減と産地魚価の向上を目的に行う自動製氷・貯氷施設の整備（浜詰・湊地区）に対して補助金を交付した。 ○水産業競争力強化緊急施設整備事業費補助金（施設整備分） 58,266千円 ・施設概要 自動製氷施設設置（製氷3 t/日、貯氷5 t） 2基 プレハブ冷蔵庫設置 1基 ・事業費 128,250千円 ・補助率 54%以内の額（国50%、京都府4%）			
主な財源	府補 沿岸漁業構造改善対策事業費補助金（54%）			58,266千円
成果・課題	氷の安定供給による漁獲物の品質及び魚価の向上や漁業者の製氷購入経費の低減等が図られ、漁業経営の安定に寄与できた。			
所管課	農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	03海業推進事業
細 事 業 名	01 海業推進事業			決算書 P.120
総 合 計 画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
1,320千円	1,346千円	26千円	98.0 %	1,050千円
目 的	「海業推進事業計画」に基づき、海業の取組を推進し、地元水産物の消費拡大や販売促進、漁村地域の活性化を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○海業推進業務に係る経費 49千円 ・海業推進実践検討会講師謝金（1回×2人） 37千円 平成29年9月19日開催、18人参加 内容：福井県「若狭三方五湖わんぱく隊」の講演と意見交換会 ・会議等職員旅費 12千円 ○ふるさと海づくり大会関連経費 389千円 ・会場除草作業委託料 248千円 ・放流参加児童送迎経費 41千円 ・ふるさと海づくり大会負担金 100千円 平成29年9月10日（日）、網野町浅茂川漁港で開催 来場者数： 約4,000人 ○小学生お魚料理教室開催経費 156千円 ・食材等消耗品ほか 開催期間： 平成29年5月～7月 参加校数： 14校（実施回数：12回） 参加児童数：小学5年生244人 ○久美浜かき地産来消促進モデル事業補助金（補助率10/10以内） 726千円 事業主体： 小天橋観光協会 協力店舗数：9店舗 事業内容： 久美浜産カキと日本海の海鮮を使った特選ランチを、期間限定で食せるプロモーション活動の実施、及び生産者による直売会の開催 実施期間： 平成30年2月1日～2月28日			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	○「お魚料理教室」の開催により、子どもの地元水産物に対する関心を高め、魚食普及を図ることができた。 ○カキの地産来消事業を支援し、域内外への認知度の向上と消費拡大に寄与できた。 ○海業に関する漁業者等の活動を支援し、漁村振興や地域産業の活性化に寄与できた。 ○漁業所得の向上、担い手の確保・育成につながる取組とするため、商業や観光、教育分野等との連携を深め、6次産業化に向けた仕組みづくりと推進体制整備が必要である。			
所 管 課	農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	06利子補給助成事業
細 事 業 名	01 利子補給助成事業			決算書 P.120
総 合 計 画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決 算 額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
63千円	66千円	3千円	95.4 %	66千円
目 的	漁業者等が借り入れた漁業近代化資金に対する支払利子の一部を助成することにより、漁業等を営む者の資金調達を円滑化し、経営の安定化と成長の促進を図る。			
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	○漁業近代化資金利子補給金 63千円 ・漁業近代化一般融資分 個人漁業者 2件			
主 な 財 源				
成 果 ・ 課 題	漁業者が借り入れた漁業近代化資金に対して利子補給を行うことで、漁業者の投資負担の軽減による設備の高度化が促進された。			
所 管 課	農林水産部／海業水産課			

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	01漁港維持管理事業	
細 事 業 名	01 漁港維持管理事業				決算書 P.120
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
2,486千円	2,659千円	173千円	93.4 %	2,660千円	
目的	漁港施設の維持補修及び施設用地の管理を行い、漁業者の安心・安全な漁業活動を確保する。				
主要な事務・事業の概要	漁船の安全な航行に必要な標識灯の修繕や、漁業活動に支障が生じている漁港施設の維持修繕を実施した。また、浅茂川漁港環境施設用地の維持管理と間人漁港の指向灯の点検業務を実施した。 ○需用費（修繕料） 1,165千円 ・浅茂川漁港係船環修繕 291千円 ・浅茂川漁港西防波堤右舷標識灯修繕 107千円 ・浅茂川漁港荷捌所側溝修繕 51千円 ・浅茂川漁港臨港道路等修繕 37千円 ・間人漁港荷捌所グレーチング修繕 96千円 ・間人漁港照射灯修繕 44千円 ・蒲井漁港法面崩落土砂撤去 98千円 ・三津漁港係船環設置 191千円 ・砂方漁港船揚場側溝修繕 42千円 ・小間漁港防波堤改修 130千円 ・袖志漁港標識灯修繕 78千円 ○委託料 338千円 ・漁港区域管理（浅茂川漁港区域内草刈等業務） 122千円 ・間人漁港指向灯保守点検業務 216千円 ○使用料及び賃借料 16千円 ・浅茂川漁港区域内漂着物回収用重機借上 ○工事請負費 967千円 ・間人漁港指向灯基盤交換工事				
主な財源					
成果・課題	○漁港施設の維持修繕の実施により、漁業者の安心・安全な漁業活動が維持できた。 ○漁港内の安全性の確保及び漁業活動を維持するため、必要性・緊急性を考慮しながら維持管理を実施する必要がある。				
所 管 課	農林水産部／海業水産課				

予 算 科 目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	02漁港整備事業	
細 事 業 名	01 漁港整備事業				決算書 P.120
総 合 計 画	計 画 項 目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興			
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	(参考) 当初予算額	
3,373千円	13,850千円	10,477千円	24.3 %	13,850千円	
目 的	漁港施設をより効果的に利用するための整備を行い、安心・安全で効率的な漁業活動を確保する。				
主 要 な 事 務 ・ 事 業 の 概 要	漁業活動の効率を上げるとともに漁業者の安心・安全な作業環境の整備を図るため、側溝の改良や泊地内の浚渫工事、野積場用地の舗装工事を実施した。				
	○工事請負費 3,373千円				
	・ 蒲井漁港野積場用地舗装工事 897千円				
	コンクリート舗装 81㎡				
	・ 浅茂川漁港側溝修繕工事 810千円				
	自由勾配側溝 12m				
	・ 浜詰漁港（塩江泊地）泊地浚渫工事（その2） 1,380千円				
	浚渫工 150㎡				
	・ 三津漁港泊地浚渫工事 286千円				
	浚渫工 49㎡				
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		3,375千円	
		実質的な執行率		99.9%	
	■平成30年度への繰越事業 10,475千円				
	・ 三津漁港蛭橋改良工事 平成30年8月完成予定 8,475千円				
	ボックスカルバート 12m				
	・ 間人漁港黒岩防波堤改修工事 平成30年8月完成予定 2,000千円				
	コンクリート舗装 15㎡				
主 な 財 源	分担金	漁港整備事業分担金（5%）			169千円
	市債	漁港施設整備事業債（過疎対策債）			850千円
成 果 ・ 課 題	○漁業活動に必要なとなる漁港施設の整備により、漁業者が安心・安全で効率的な漁業活動を営むことができた。 ○市の管理漁港内における土砂等の堆積を防ぐため、計画的な浚渫工事を実施する必要がある。				
所 管 課	農林水産部／海業水産課				

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	03水産基盤ストックマシ' 外事業					
細事業名	01 水産基盤ストックマシ' 外事業			決算書 P.120					
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興							
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額					
6,181千円	8,041千円	1,860千円	76.8 %	15,400千円					
目的	漁港施設の調査・機能診断を踏まえた機能保全計画を策定し、同計画に基づいた保全工事を実施することで、施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。								
主要な事務・事業の概要	平成27年度に策定した機能保全計画に基づき、浜詰漁港（夕日泊地）航路浚渫工事を実施した。								
	○工事請負費 6,181千円								
	・浜詰漁港（夕日泊地）航路浚渫工事 浚渫工 730㎡								
	<table><tr><td>参考</td><td>繰越明許費を除いた最終予算額</td><td>6,181千円</td></tr><tr><td></td><td>実質的な執行率</td><td>100.0%</td></tr></table>				参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,181千円		実質的な執行率
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	6,181千円							
	実質的な執行率	100.0%							
主な財源	■平成30年度への繰越事業								
	・浅茂川漁港泊地浚渫工事 平成30年11月完成予定 1,860千円								
	浚渫工 200㎡								
	◆水産基盤整備ストックマネジメント事業の概要								
成果・課題	<事業趣旨>								
	老朽化により更新を必要とする施設の増加に伴い、効果的かつ効率的な維持管理・更新について計画的に取り組むことにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を推進する。								
	<事業内容>								
	・施設の老朽化診断と「機能保全計画」の策定								
所管課	・機能保全計画に基づく老朽化対策工事の実施								
	分担金	水産基盤ストックマシ' 外事業分担金（5%）		103千円					
	府補	水産基盤ストックマシ' 外事業補助金（2/3）		4,120千円					
	○保全計画に基づく工事の計画的な実施により、漁港施設の長寿命化を図った。								
○港勢要件により本事業の対象外となる漁港について、今後の維持管理・老朽化対策が課題となっている。									
所管課		農林水産部／海業水産課							

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	03水産基盤ストックマシ' 外事業
細事業名	01 水産基盤ストックマシ' 外事業（繰越）			決算書 P.120
総合計画	計画項目	3 「海業」とつくり育てる漁業の振興		
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
3,266千円	3,266千円	0千円	100.0 %	3,266千円
目的	漁港施設の調査・機能診断を踏まえた機能保全計画を策定し、同計画に基づいた保全工事を実施することで、施設の長寿命化と維持更新コストの縮減を図る。			
主要な事務・事業の概要	平成27年度に策定した機能保全計画に基づき、浜詰漁港（夕日泊地）航路浚渫工事を実施した。 ○工事請負費 3,266千円 ・浜詰漁港（夕日泊地）航路浚渫工事 浚渫工 400㎡			
主な財源	分担金 府補	水産基盤ストックマシ' 外事業分担金（5%） 水産基盤ストックマシ' 外事業補助金（2/3）	54千円 2,177千円	
成果・課題	○保全計画に基づく工事の計画的な実施により、漁港施設の長寿命化を図った。 ○港勢要件により本事業の対象外となる漁港について、今後の維持管理・老朽化対策が課題となっている。			
所管課	農林水産部／海業水産課			